

九州厚生局長 殿

九州大学病院  
病院長 久保 千寿

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 1 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	4 6 9 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	634人	0人	634人	看護補助者	51人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	227人	0人	227人	理学療法士	12人	臨床検査技師	85人
薬 剤 師	64 人	0人	64 人	作業療法士	7人	衛生検査技師	3人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	37人	0.7人	37.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,114人	12.3人	1126.3人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	0人	1人	栄 養 士	0人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	17人	0人	17人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	270人
管理栄養士	6人	0人	6人	診療放射線技師	64人	そ の 他 の 職 員	63人

(注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

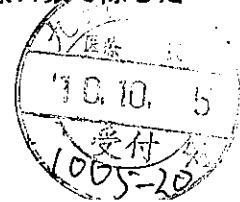
	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	1,042.9 人	34.2人	1,077.1人
1日当たり平均外来患者数	1,965.5 人	615.1人	2,580.6人
1日当たり平均調剤数			4,843剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。







(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療 (該当なし)

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	173人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	199人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	156人	・原発性胆汁性肝硬変	105人
・全身性エリテマトーデス	394人	・重症急性膵炎	13人
・スモン	9人	・特発性大腿骨頭壊死症	159人
・再生不良性貧血	50人	・混合性結合組織病	39人
・サルコイドーシス	117人	・原発性免疫不全症候群	45人
・筋萎縮性側索硬化症	33人	・特発性間質性肺炎	11人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	220人	・網膜色素変性症	117人
・特発性血小板減少性紫斑病	72人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	32人	・肺動脈性肺高血圧症	17人
・潰瘍性大腸炎	325人	・神経線維腫症	26人
・大動脈炎症候群	62人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	40人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	29人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	72人	・ライソゾーム病	7人
・クローン病	264人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	26人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	189人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	13人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3人
・後縦靭帯骨化症	67人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	50人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	57人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	25人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	16人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ D256-2 眼底三次元画像解析	・
・ K007 皮膚悪性腫瘍切除術 注 悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・ K476 乳腺悪性腫瘍手術 注1 乳がんセンチネルリンパ節加算1	・
・ K695-2 腹腔鏡下肝切除術 1 部分切除 2 外側区域切除	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週2回程度 月8回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 46 例 / 部検率 14.50 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
高い移植片生着効率を示すSIRPA変異型遺伝子導入新規ヒト化	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
造血システムにおける腫瘍性幹細胞およびその悪性化に関する遺伝子の同定	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	1,320万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤S)
PD-1/PD-L1経路	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	80万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(特別研究員奨励費)
新規遺伝子Spredsのマウス造血における機能解析	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(特別研究員奨励費)
拡散テンソルおよび血液スピトラベリングを用いたヒト味覚伝導路の探索	加美 由紀子	口腔画像診断科	95万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手スタートアップ)
抗アポトーシス遺伝子MCL-1の白血病幹細胞化における役割	宮本 敏浩	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	410万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
白血病幹細胞に特異的に発現するmiRNA/転写因子の同定とその機能解析	竹中 克斗	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	120万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
原発性胆汁性肝硬変(PBC)の成立における自然免疫の役割とその制御	下田 慎治	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	300万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
膜型TNFの機能解析と自己免疫疾患の病態解明ならびに治療への応用	堀内 孝彦	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
難治性自己免疫疾患に対する新しい幹細胞移植療法の開発	塚本 浩	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脳梗塞患者に対する自家培養骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による細胞療法への検討	北園 孝成	消化管内科 腎・高血圧・脳 血管内科	100万円	補委 文部科学省橋渡し研究費
全く新しいタイプの糖尿病治療薬GLP-1による脂肪肝・肝炎への治療応用の検討	加藤 正樹	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	169万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
インテリジェント人工核酸を搭載したナノDDSによる革新的分子標的治療薬の研究	野村 政壽	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	450万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤S)
リアルタイムイメージングを用いたSERMの組織特異的作用メカニズムの解析	河手 久弥	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
PPAR $\gamma$ 血管内皮KOマウスを用いたPPAR $\gamma$ の糖尿病合併心血管病抑制機序の解明	足立 雅広	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	221万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
炎症性腸疾患におけるTh17型炎症の制御性T細胞による抑制に関する研究	中村 和彦	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
慢性膵炎進展におけるFRCTALKINEの関与	伊藤 鉄英	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	86万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
ストレス性慢性微熱モデル動物の作成と、その機序の解明	岡孝和	心療内科	78万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
幼少期の心理的ストレスは成長後の喘息発症・増悪に影響を与えるか?	久保千春、吉原一文	心療内科	140万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
腸内細菌とストレス反応:動物実験と臨床研究の融合による統合的解明	久保千春、須藤信行、吉原一文、古賀泰裕	心療内科	338万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
神経性食欲不振症患者の長期入院と短期入院の実施と予後に関するプロスペクティブスタディ	瀧井正人	心療内科	50万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託事業
1型糖尿病における摂食障害合併に関する研究 -発症因子と予後-	瀧井正人	心療内科	117万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
長期飢餓ストレスがタンパク発現調節因子(miRNA)に及ぼす影響	高倉修、河合啓介	心療内科	273万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
軸索型ギラン・バレー症候群先行感染菌由来蛋白の軸索膜ポア形成による傷害とその治療	吉良 潤一	神経内科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
CIDP惹起性自己反応性Th17細胞の認識抗原の同定	河村 信利	神経内科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
抗アクアポリン4抗体陰性視神経脊髄炎における新規自己抗原の解析	土井 光	神経内科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
脱髄性疾患における神経系claudinファミリー蛋白に対する自己免疫応答の解析	三野原 元澄	神経内科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ALSにおけるG-CSFの運動ニューロン保護作用の解明と髄腔内持続投与療法の開発	山崎 亮	神経内科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ポリグルタミン病モデルマウスの分子病態解明と新規標的分子に対する治療薬の開発	栄 信孝	神経内科	210万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
ALSでのHIF-1 $\alpha$ /VEGF系異常における転写因子核移行障害メカニズムの解明	立石 貴久	神経内科	210万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
細菌由来アクアポリンによる抗AQP4抗体の誘導と動物モデルでの抗体作用機序の解析	松下 拓也	神経内科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
局所皮質異形成ラットでのてんかん原性獲得には皮質ネットワーク異常が関与する	重藤 寛史	神経内科	220万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
疾病の診断基準等作成のための奨励研究:アトピー性気管炎診断基準の作成とそれに基づいた臨床疫学調査の実施	吉良 潤一	神経内科	1,950万円	補委 厚生労働科学研究費
生体試料等の収集に関する研究:日本人多発性硬化症患者緯度・症型別臨床データ/サンプルバンクの構築	吉良 潤一	神経内科	500万円	補委 厚生労働科学研究費



高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
抗アクアポリン4抗体陰性視神経脊髄炎における新規自己抗原の解析	土井 光	神経内科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
脱髄性疾患における神経系claudinファミリー蛋白に対する自己免疫応答の解析	三野原 元澄	神経内科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ALSにおけるG-CSFの運動ニューロン保護作用の解明と髄腔内持続投与療法の開発	山崎 亮	神経内科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ポリグルタミン病モデルマウスの分子病態解明と新規標的分子に対する治療薬の開発	栄 信孝	神経内科	210万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
ALSでのHIF-1 $\alpha$ /VEGF系異常における転写因子核移行障害メカニズムの解明	立石 貴久	神経内科	210万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
細菌由来アクアポリンによる抗AQP4抗体の誘導と動物モデルでの抗体作用機序の解析	松下 拓也	神経内科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
局所皮質異形成ラットでのてんかん原性獲得には皮質ネットワーク異常が関与する	重藤 寛史	神経内科	220万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
疾病の診断基盤等作成のための奨励研究:アトピー性喘息診断基盤の作成とそれに基づいた臨床疫学調査の実施	吉良 潤一	神経内科	1,950万円	補委 厚生労働科学研究費
生体試料等の収集に関する研究:日本人多発性硬化症患者緯度・症型別臨床データ/サンプルバンクの構築	吉良 潤一	神経内科	500万円	補委 厚生労働科学研究費
慢性心不全の予後を改善するための非侵襲で安全・安心な無痛性ICDの実用化臨床試験	砂川 賢二	循環器内科・冠動脈疾患治療部	12,358万円	補委 厚生労働科学研究費
バイオニック血圧制御システムの実用化開発	砂川 賢二	循環器内科・冠動脈疾患治療部	5,000万円	補委 厚生労働科学研究費
特発性心筋症に関する調査研究	砂川 賢二	循環器内科・冠動脈疾患治療部	110万円	補委 厚生労働科学研究費
日本初の独創的な技術に基づいた情報型先進治療システム開発	砂川 賢二	循環器内科・冠動脈疾患治療部	50,800万円	補委 厚生労働科学研究費
脊髄損傷患者の血圧調節失調を克服するためのバイオニック血圧制御システムの開発	砂川 賢二	循環器内科・冠動脈疾患治療部	1,660万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤S)
動脈硬化病変(再狭窄、不安定プラーク)に対する画期的血管内治療システムの創製—長期間モデル作製から臨床応用まで—	江頭 健輔	循環器内科・冠動脈疾患治療部	4,643.4万円	補委 厚生労働科学研究費
重症肺高血圧症の予後と生活の質を改善するための低侵襲かつ安全安心な吸入ナノ医療の実用化臨床試験	江頭 健輔	循環器内科・冠動脈疾患治療部	27,400万円	補委 厚生労働科学研究費
虚血肢治療用低侵襲ナノ粒子製剤の実用化	江頭 健輔	循環器内科・冠動脈疾患治療部	5,384.6万円	補委 文部科学省科学技術振興機構

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
アドレノメジュリン封入ナノ粒子溶出ステントの創製を基盤とする動脈硬化性疾患の新規治療法開発	江頭 健輔	循環器内科・冠動脈疾患治療部	150万円	補委 国立循環器病センター
我が国発 世界標準の生体完全吸収性 ナノテクDDSステントの開発	江頭 健輔	循環器内科・冠動脈疾患治療部	1,000万円	補委 財団法人テルモ科学技術振興財団
メタボリック症候群における高血圧:交感神経系活性化の脳内機序解明及び治療法の開発	廣岡 良隆	循環器内科・冠動脈疾患治療部	270万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
医療機器の国際的な動向を踏まえた品質、有効性及び安全性の評価に関する研究	戸高 浩司	循環器内科・冠動脈疾患治療部	100万円	補委 厚生労働科学研究費
心身症診断・治療ガイドラインの標準化とその検証に関する研究	肥後 太基	循環器内科・冠動脈疾患治療部	60万円	補委 国立精神神経センター
不全心におけるミトコンドリアDNAの細胞内分子機構の解明と治療への応用	井手 友美	循環器内科・冠動脈疾患治療部	210万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
ヒト腎動脈血行再建による全身動脈硬化制御の試み	向井 靖	循環器内科・冠動脈疾患治療部	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
心血管系のPHD2を標的とした血管新生誘導の試みと治療への応用	武田 宏太郎	循環器内科・冠動脈疾患治療部	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
心不全増悪要因としての脳内ナトリウムハンドリング異常:機序解明と治療法の確立(若手B)	伊藤 浩司	循環器内科・冠動脈疾患治療部	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
シグマ受容体の自律神経調節における役割解明と心不全←シグマ受容体機能不全←うつ罹患の関連検討	伊藤 浩司	循環器内科・冠動脈疾患治療部	100万円	補委 貝原守一医学振興財団
自然発症高血圧ラットの卵巣摘出による血圧上昇機序としての脳内Rho-kinase系およびRA系活性化を介した交感神経系亢進	伊藤 浩司	循環器内科・冠動脈疾患治療部	30万円	補委 成人血管病研究振興財団
動脈硬化の発生・進展におけるキチナーゼの役割(若手B)	北本 史郎	循環器内科・冠動脈疾患治療部	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
原発性肺高血圧症の成因及び肺血管リモデリングに関する研究	岸 拓哉	循環器内科・冠動脈疾患治療部	110万円	補委 国立循環器病センター
心不全における交感神経系活性化機序としての脳内グリア細胞内Toll-like receptor異常	岸 拓哉	循環器内科・冠動脈疾患治療部	300万円	補委 武田科学振興財団
メタボリックシンドローム患者におけるアンジオテンシン受容体拮抗薬の血管内皮機能および自律神経機能改善作用	岸 拓哉	循環器内科・冠動脈疾患治療部	50万円	補委 木村記念循環器財団
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	原 寿郎	小児科	3,800万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
ヒト化モデルマウスを用いた次世代遺伝子治療法の開発:遺伝子修復による自己細胞再生	原 寿郎	小児科	410万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
造血障害の研究・教育交流拠点の形成とアジア血液学の創出	原 寿郎	小児科	900万円	補委 独立行政法人 日本学術振興会 アジア研究拠点事業
難治性EBウイルス感染疾患の病因と治療に関する研究	大賀正一	小児科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ヒトリンパ球系細胞の分化過程に関する研究	高田英俊	小児科	120万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脂質代謝を規定する遺伝子探求:小児期疾患と成人期コホートの体系的スクリーニング	井原健二	小児科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
小児感染症関連脳症における新たなバイオマーカーの探索	鳥巢浩幸	小児科	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
再発小児白血病におけるサイトカイン発現特異性の解明と早期予知法の開発	古賀友紀	小児科	120万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
川崎病の包括的研究・急性期病態と自然免疫の関連	池田和幸	小児科	180万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
へノホ・シェーンライン紫斑病発症における自然免疫の関与	堤 康	小児科	180万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
母子相互作用の神経基盤と新生児集中治療室入院の影響	實藤 雅文	小児科	100万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
アデノAAVハイブリッドベクターを用いた造血幹細胞系のBTK遺伝子修復研究	落合 正行	小児科	140万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
呼吸濃縮液を用いた気管支肺異形成の病態解析	後藤 貴子	小児科	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
小児急性散在性脳脊髄炎、多発性硬化症の病因・病態解析と診断マーカーの探索	吉良龍太郎	小児科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
子宮内膜細胞の老化逸脱へのゲノム多様性の関与と癌幹細胞における不死化能獲得機構	和氣 徳夫	産科婦人科	520万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
不死化能獲得に関与するp53安定化シグナルの解明とその再構築による癌ゲノム創薬	和氣 徳夫	産科婦人科	190万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
婦人科がんにおけるメトロミック化学療法の有用性に関する検討	小林 裕明	産科婦人科	286万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
RCASIをターゲットとした新たな癌分子標的治療開発に関する研究	園田 顕三	産科婦人科	247万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
子宮頸癌におけるセンチネルリンパ節術中転移診断法によるリンパ節郭清術省略の試み	小川 伸二	産科婦人科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
パクリタキセル投与時の過敏症発現の解明および予防に関する研究	矢幡 秀昭	産科婦人科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
卵巣癌のパクリタキセル耐性機序に関わる候補遺伝子の同定	奥川 馨	産科婦人科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
子宮体癌における対立遺伝子間発現量の相違	谷口 秀一	産科婦人科	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
I型、II型子宮体癌に着目した新規分子標的治療法の開発	井上 貴史	産科婦人科	195万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
早期胎状奇胎症例に対応した新たな診断基準の確立と有用な診断マーカーの同定	兼城 英輔	産科婦人科	195万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
がん抑制遺伝子FBXW7の子宮筋における機能と子宮肉腫との関わりについての解析	小野山 一郎	産科婦人科	273万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
超音波唾液腺造影法 - 唾液腺疾患における新しい診断法の確立と臨床応用のための検討	清水 真弓	口腔画像診断科	140万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ハイリスク妊娠症例における胎児中枢神経系機能評価の前方視的検討	諸隈 誠一	産科婦人科	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
子宮内膜症の発生および癌化機構の解明	加藤 聖子	産科婦人科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
子宮体癌幹細胞及び子宮内膜幹細胞の同定と新規分子標的治療の開発	恒松 良祐	産科婦人科	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
妊婦におけるダイオキシン摂取が胎児健康に及ぼす影響のリスク評価に関する研究	諸隈 誠一	産科婦人科	100万円	補委 環境省 環境研究・技術開発推進費
H-MRI, P-MRSによる咬合の咀嚼筋に及ぼす影響の画像的評価	筑井 徹	口腔画像診断科	160万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
胎児・新生児障害の原因となる自己抗体陽性女性の妊娠管理指針の作成	和氣 徳夫	産科婦人科	100万円	補委 厚生労働省科学研究費
本邦における反復胎状奇胎症例の実態把握と確定診断法の開発	和氣 徳夫	産科婦人科	50万円	補委 厚生労働省科学研究費
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	小林 裕明	産科婦人科	100万円	補委 厚生労働省科学研究費
絨毛細胞の血管内皮様分化における細胞系列並びに分化誘導刺激の特異性に関する研究	福嶋 恒太郎	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	156万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
胎児心時相解析ならびに大動脈脈波波形解析を用いた新たな胎児心循環機能評価法の開発	藤田 恭之	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	26万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
ドプラ心弁信号と大動脈波微小変位計測法を用いた非侵襲的ヒト胎児心循環評価法の開発	湯元 康夫	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	169万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
地域における周産期医療システムの充実のための研究	福嶋 恒太郎	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	100万円	補委 厚生労働省科学研究費
先天性横隔膜全欠損に対する遺伝子導入および再生医療を応用した新規治療法の開発	田口 智章	総合周産期母子医療センター(新生児外科部門)	676万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
Open MRIによる超精密画像誘導下低侵襲胎児治療法の開発	田口 智章	総合周産期母子医療センター(新生児外科部門)	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
Gjaノックアウトマウスを用いた低形成肺発生機序の解明に関する分子生物学的研究	永田 公二	総合周産期母子医療センター(新生児外科部門)	110万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
先天性横隔膜ヘルニアにおけるインシュリン様成長因子を用いた新たな胎児治療戦略	江角 元史郎	総合周産期母子医療センター(新生児外科部門)	90万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
周産期ゆりかごネットプロジェクト	和氣 徳夫	総合周産期母子医療センター	4,000万円	補委 文部科学省の「周産期医療環境整備事業(人材養成環境整備)」採択事業
ヒト化モデルマウスを用いた次世代遺伝子治療法の開発:遺伝子修復による自己細胞再生	原 寿郎	総合周産期母子医療センター	533万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
難治性EBウイルス関連疾患の病因と治療に関する研究	大賀 正一	総合周産期母子医療センター	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脂質代謝を規定する遺伝子探求:小児期疾患と成人期コホート	井原 健二	総合周産期母子医療センター	169万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
アデノAAVハイブリッドベクターを用いた造血幹細胞系のBTK遺伝子修復研究	落合 正行	総合周産期母子医療センター	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
呼吸濃縮液を用いた気管支肺異形成の病態解析	後藤 貴子	総合周産期母子医療センター	208万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
小児感染症関連脳症における新たなバイオマーカーの探索	鳥巢 浩幸	総合周産期母子医療センター	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
高悪性腺癌細胞のProspective isolationと次世代個別化治療開発	田中 雅夫	第一外科	637万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
メタボロミクスによる膵癌特異的代謝物の同定と膵液診断への展開	田中 雅夫	第一外科	140万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
難治性膵疾患に関する調査研究	田中 雅夫(分担)	第一外科	100万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
膵がん切除例に対する補助療法の上を目指した多施設共同研究	田中 雅夫(分担)	第一外科	50万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
膵癌遠隔転移における間葉系幹細胞(MSC)の役割の解明とその臨床的意義の検討	田中 雅夫 (分担)	第一外科	156万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
造血障害の研究・交流拠点の形成とアジア血液学の創出	清水 周次 (分担)	第一外科	990万円	補委 日本学術振興会(アジア教育拠点事業)
次世代インターネットを用いた遠隔医療の開発と臨床応用	清水 周次 (分担)	第一外科	1,540万円	補委 日本学術振興会(日中医学交流事業)
膵液中分子マーカーによる膵がん診断研究の総括とIPMN subtypeの臨床応用	水元一博	第一外科	624万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
人工ウイルスを用いた新規早期がん診断システムの構築	水元一博	第一外科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
人工ウイルスを用いた早期膵腫瘍侵襲膵管内治療の開発	永井 英司	第一外科	140万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
癌の臓器特異性を基盤としたヒト化マウスを用いた癌性幹細胞療法の開発	中村 雅史	第一外科	468万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
超低分子・低コスト・設計自由の新世代人工抗体による分子標的薬開発システムの構築	中村 雅史	第一外科	120万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
新規遺伝子改変マウスにおけるWee1遺伝子の膵発癌への関与とその臨床的意義	富永 洋平	第一外科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
膵癌治療抵抗性関連microRNAの同定とその制御による治療感受性増強	当間 宏樹	第一外科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
膵癌EMT関連miRNAの同定とRedoxによるそのmiRNA制御機能の解明	高畑 俊一	第一外科	182万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
腎臓移植の成績向上をめざした臨床データ解析を目的とした症例登録と追跡制度の確立並びにドナー及びレシピエントの安全性確保とQOL向上に関する研究	北田 秀久 (分担)	第一外科	30万円	補委 厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)
膵癌遠隔転移における間葉系幹細胞(MSC)の役割の解明とその臨床的意義の検討	上田 純二	第一外科	156万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
新規癌細胞特異的人工ウイルスの効率的細胞内導入法の開発	真鍋 達也	第一外科	136.5万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手スタートアップ)
癌幹細胞を標的とする人工ウイルスを用いた癌幹細胞特異的Drug delivery activation system (DDAS)の確立	大内田 研宙	第一外科	500万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金(医療機器開発推進研究事業)
膵癌幹細胞及び癌幹細胞ニッチ相互作用を標的とした新規膵新規膵癌治療	大内田 研宙	第一外科	741万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手A)
膵癌におけるmicroRNA発現とその機能; 早期診断、個別化治療への応用	大内田 研宙	第一外科	200万円	補委 財団法人加藤記念バイオサイエンス研究振興財団(第19回加藤記念研究助成金)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
膵癌癌幹細胞の同定と癌幹細胞を標的にした治療法の開発	大内田 研宙	第一外科	300万円	補委 財団法人中島記念国際交流財団・日本人若手研究者研究助成金
c-kitによる膵癌幹細胞同定と標的治療	大内田 研宙	第一外科	100万円	補委 財団法人員原守一医学新興財団研究助成
癌関連PSCのprospective isolationによる選択/同定と特定のPSC癌相互作用を標的とした新規膵癌治療の開発	大内田 研宙	第一外科	300万円	補委 財団法人がん研究振興財団・平成21年度(第12回)がん研究助成金 特定課題
膵液腫瘍マーカーの新機軸;膵液中micro RNA定量解析による膵癌術前診断への応用	大内田 研宙	第一外科	40万円	補委 財団法人臨床研究奨励基金・平成21年度臨床研究助成
膵癌治療抵抗性に関連する代謝産物の網羅的解析による新規治療効果判定・予測マーカーの同定および治療抵抗性克服のための関連分子制御法の開発	大内田 研宙	第一外科	100万円	補委 財団法人安田記念医学財団・平成21年度若手癌研究助成
乳癌癌幹細胞と相互作用を示すニッチ細胞の同定とその機能解析	白羽根 健吾	第一外科	234万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
膵発癌過程における癌化抑制機構としてのセネセンスの解析とその診断・治療への応用	宮坂 義浩	第一外科	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
遺伝子導入メカニズムの解明とその臨床応用への新展開	江上 拓哉	第一外科	234万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
膵癌及び前癌病変でのFFPEサンプル遺伝子発現解析及びマイクロRNA網羅的解析	仲田興平	第一外科	140万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(特別研究員奨励費)
治療標的となる乳癌幹細胞の再生・維持機構の解析と治療応用への展開	久保 真	第一外科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
腫瘍・間質の血管新生シグナルを標的としたナノ粒子による革新的消化器がん治療戦略	前原 喜彦	第二外科	3,159万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤A)
非喫煙者に発生する肺癌の新しい疾患概念の確立と分子病態に基づいた革新的治療の開発	矢野 篤次郎	第二外科	247万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
消化器外科手術における合成吸収管使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同進行群無作為比較試験	前原 喜彦	第二外科	3,854万円	補委 厚生労働省科学研究費
臨床研究・予防・治療技術開発研究事業・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の外科手術術前除菌操作の是非に関するFeasibility Study	前原 喜彦	第二外科	800万円	補委 厚生労働省科学研究費
食道癌発癌における喫煙・飲酒による酸化的DNA損傷および癌抑制遺伝子異常の関与	森田 勝	第二外科	273万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
肝硬変症における肝内微小循環障害の分子機序の解明と肝機能改善のための治療法の開発	赤星朋比古	第二外科	247万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
FANCI欠損によるゲノム不安定性と細胞癌化への関与	北尾 洋之	第二外科	247万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
学術用高速インターネットを用いたアジア遠隔医療システム構築のための体系的調査研究	清水周次	光学医療診療部	494万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
胃癌の内視鏡的早期診断に関する遠隔教育基盤の形成	清水周次	光学医療診療部	250万円	補委 日本学術振興会(日中医学交流事業)
関節炎による軟骨変性の早期変化に対する新しい解析法の確立	岡崎 賢	整形外科	143万円	補委 整形災害研究財団
変異型MMP2による骨破壊機序の研究	福士純一	整形外科	117万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	石本幸夫 (主任研究者)	整形外科	5,500万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
関節発生におけるヘパラン硫酸の役割の解明	松本 嘉寛	整形外科	70万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	石本幸夫 (研究分担者)	整形外科	250万円	補委 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患克服研究事業
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松田秀一	整形外科	75万円	補委 厚生労働科学研究費
自己脂肪由来幹細胞を用いた骨軟骨の再生医療の事業化	松田秀一	整形外科	522万円	補委 科学技術振興機構
高脂血症薬(スタチン)を用いた、変形性膝関節症に対する治療の試み	松田秀一	整形外科	140万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
免疫寛容による臓器(心臓)移植:薬剤誘導性免疫寛容系の展開	富田 幸裕	心臓外科	585万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
長期使用可能な小児補助循環の開発	塩川 祐一	心臓外科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ウサギの脊髄虚血モデルに対するRho-kinase阻害薬の脊髄保護効果の検討	中島 淳博	心臓外科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脳死ドナー体内における摘出前臓器保護—副交感神経系を介した炎症制御の検討	大石 恭久	心臓外科	221万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
新規ナノDDS技術を基盤とする静脈グラフト不全に対する革新的ナノ治療の創製	木村 聡	心臓外科	208万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
慢性心不全の予後を改善するための非侵襲で安全・安心な無痛性ICDの実用化臨床試験(1120-活助-指定-007)	富永 隆治 (分担)	心臓外科	700万円	補委 厚生労働省研究費
新しいチーム医療体制確立のためのメディカルスタッフの現状と連携に関する包括的調査研究(1120-政策一般-015)	富永 隆治 (分担)	心臓外科	60万円	補委 厚生労働省研究費



高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
先天性横隔膜全欠損に対する遺伝子導入および再生医療を応用した新規治療法の開発	田口 智章	小児外科	676万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
Open MRIによる超精密画像誘導下低侵襲胎児治療法の開発	田口 智章	小児外科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
小児固形悪性腫瘍に対するテーラーメイド型治療へ向けてのSNPアレイ解析	田中 桜	小児外科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
胆道閉鎖症の成因におけるmaternal microchimerismの関連	林田 真	小児外科	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
神経芽腫におけるSNPアレイを用いた全遺伝子解析に基づく生物学的多様性解析	宗崎 良太	小児外科	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
Gjaノックアウトマウスを用いた低形成肺発生機序の解明に関する分子生物学的研究	永田 公二	小児外科	110万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
小腸移植における虚血プレコンディショニングの効果に関する検討	佐伯 勇	小児外科	120万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手スタートアップ)
先天性横隔膜ヘルニアにおけるインシュリン様成長因子を用いた新たな胎児治療戦略	江角 元史郎	小児外科	90万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
小児低侵襲治療の教育・研究プログラムの確立ーアジアにおける小児医療水準の向上を目指してー	田口 智章	小児外科	299万円	補委 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト
神経芽腫に対する樹状細胞免疫遺伝子治療の開発	田中 桜	小児外科	100万円	補委 財団法人がんの子どもを守る会助成金
歯科用コーンビームCT検査の最適化のための総合的CT性能評価	吉浦 一紀	口腔画像診断科	270万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江増隆	皮膚科	26,000万円	補委 厚生労働省科研費
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究	古江増隆	皮膚科	5,000万円	補委 厚生労働省科研費
有棘細胞癌の進展・浸潤機構の解明	古江増隆	皮膚科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	師井洋一	皮膚科	317.2万円	補委 厚生労働省科研費
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	内藤 誠二	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	2,100万円	補委 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
腎細胞癌に対するインターフェロンの作用とインターフェロン+樹状細胞療法への検討	立神 勝則	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	78万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
3次元培養モデルを用いた前立腺発癌機構の解析とバイオマーカー	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
過活動膀胱の分子生物学的・電気生理学的特性を解明し、新治療法の可能性を探る	梶岡 俊一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	182万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
双極性障害における脳内報酬回路の機能障害の解明: 基礎的および臨床的研究の統合	神庭 重信 (代表)	精神科神経科	572万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
抗精神病薬のミクログリアを介した神経炎症調整機序の解明から統合失調症の病態を探る	加藤 隆弘 (代表)	精神科神経科	80万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(特別研究員奨励費)
抗うつ薬・気分安定薬およびBDNFによる脳内ミクログリア活性化の制御機序解明	溝口 義人 (代表)	精神科神経科	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
中枢神経炎症調整薬としての非定型抗精神病薬の役割に関する研究	門司 晃 (代表)	精神科神経科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
拡散テンソルMRIを用いた脳内ネットワーククイミング法の開発とその臨床応用	門司 晃 (分担)	精神科神経科	5万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脳機能形態MR画像に基づくアルツハイマー型認知症の高精度検出システムの開発	門司 晃 (分担)	精神科神経科	2万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
機能的MRIを用いた強迫性障害の脳機能研究: 治療効果と脳機能変化の検討	中尾 智博 (分担)	精神科神経科	45.5万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
統合失調症と双極性障害の共通性・異種性を探るー脳画像・脳機能研究ー	鬼塚 俊明 (代表)	精神科神経科	78万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脳画像の数理統計的処理と精神疾患への応用	上野 雄文 (代表)	精神科神経科	78万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
周産期からの虐待防止を実現する家族看護技術の確立と医療連携システムモデルの構築	山下 洋 (分担)	精神科神経科	39万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
気分障害の神経病理学に基づく分類を目指した脳病態の解明	神庭 重信 (分担)	精神科神経科	400万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
アルツハイマー病の危険因子の解明と予防に関する大規模ゲノム疫学研究	神庭 重信 (分担)	精神科神経科	600万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
「抗うつ薬に関する臨床評価ガイドライン」の作成に関する研究	神庭 重信 (分担)	精神科神経科	40万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
精神科領域における臨床研究推進のための基盤作りに関する研究	神庭 重信 (分担)	精神科神経科	420万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
アジアの「うつ」「自殺」に対する新しい挑戦: 多文化的多軸的国際共同研究に向けて(二国間交流事業・セミナー)	神庭 重信 (代表)	精神科神経科	250万円	補委 日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	神庭 重信 (主任)	精神科神経科	150万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
児童思春期強迫性障害(OCD)診断・治療ガイドラインの検証及び拡充に関する研究	川崎 弘詔 (分担)	精神科神経科	80万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
精神疾患の客観的補助診断法の標準化と科学的根拠に基づく治療反応性の判定法の確立	鬼塚 俊明 (分担)	精神科神経科	130万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
核酸代謝酵素をターゲットとしたオーダーメイド頭頸部癌放射線化学療法の基礎研究	中島 寅彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	120万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
医工学連携による1ミリ以下の要求精度に応える耳科ナビゲーション手術の開発	松本 希	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手A)
経皮的椎体形成術の治療効果と続発性骨折の予後因子の解明	樋渡 昭雄	放射線科	378万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
拡散テンソルMRIを用いた脳内ネットワークイメージング法の開発とその臨床応用	吉浦 敬	放射線科	389万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
3次元CTを用いた胃癌内視鏡的粘膜下層剥離術粘膜つまみ法の開発	松浦 秀司	放射線科	442万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
造影マルチスライスCTによる3次元胃壁血管抽出画像の開発および胃癌診断への応用	古森 正宏	放射線科	338万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
肺癌定位照射の肺毒性とその生物学的および物理学的先行指標に関する研究	塩山 善之	放射線科	419万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
放射線治療に資するがん制御遺伝子解析研究	本田 浩	放射線科	105万円	補委 独立行政法人放射線医学総合研究所
新たな磁気共鳴撮影法を利用した関節軟骨障害の早期検出、定量的評価法の開発	高山 幸久	放射線科	210.6万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(研究活動スタート支援)
移植対象臓器血管に対する周術期薬物の直接作用に関する研究	赤田 隆	麻酔科蘇生科	65万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
肝炎ウイルスと代謝・免疫系の相互作用に関する包括的研究	林 純	総合診療科	500万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究	古庄 憲浩	総合診療科	300万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
頸動脈エコーからみた動脈硬化症の疫学的研究	林 純	総合診療科	50万円	補委 公益信託日本動脈硬化予防研究会
ミトコンドリアDNAの異常発生機構解析に基づいた体系的診断システムの構築	康 東天	検査部	962万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤A)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
糖尿病大規模コホート研究におけるミトコンドリアDNA解析	康 東天	検査部	120万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
ミトコンドリア蛋白質の翻訳異常に伴う活性酸素の産生と細胞周期連関	康 東天	検査部	338万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金新学術領域研究(研究領域提案型)
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	康 東天	検査部	65万円	補委 厚生労働科学研究費
革新的バイオ医薬工医学の医療技術開発拠点	康 東天	検査部	210万円	補委 文部科学省橋渡し研究費
ミトコンドリア内外の協調的翻訳機構の分子基盤	内海 健	検査部	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
ミトコンドリアオートファジーのメカニズム ～酵母からヒトまで～	神吉 智丈	検査部	156万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(研究活動スタート支援)
血中シアロ糖タンパクと病態との関連性に関する研究ー病態シアロームの提唱ー	青木 義政	検査部	60万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
ミトコンドリアオートファジーの分子機構の解明とその臨床応用	神吉 智丈	検査部	200万円	補委 財団法人 上原記念生命科学財団
マイトファジーの分子機構解明とパーキンソン病治療への応用	神吉 智丈	検査部	100万円	補委 公益信託 永尾武難病研究基金
脳機能3次元MR画像を用いた早期アルツハイマー病鑑別診断支援システムの開発	山下 泰生	放射線部	169万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
加齢黄斑変性の危険因子の解明と予防に関する大規模ゲノム疫学研究	石橋 達朗	眼科	780万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
糖尿病網膜症の病態解明と新規治療法開発	畑 快右	眼科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
新世代透過型電子顕微鏡電子線トモグラフィ法による3次元再構成成功分解能観察法	久富 智朗	眼科	350万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
網膜芽細胞腫に対する腫瘍自己容解型ウイルスを用いた新規治療の開発	吉川 洋	眼科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脈絡膜新生血管に伴う網膜下癒痕病巣形成の抑制	園田 康平	眼科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
hPEDF(ヒト色素上皮由来因子)による視細胞保護効果の分子メカニズム解析	池田 康博	眼科	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
新規遺伝子導入ベクターを用いた難治緑内障の遺伝子治療開発	宮崎 勝徳	眼科	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
類上皮肉腫と悪性ラブドイド腫瘍の分子生物学的解析および鑑別診断	孝橋 賢一	病理部	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
悪性軟部腫瘍におけるシグナル伝達分子異常の解析と分子標的治療の可能性の研究	小田 義直	病理部	793万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
慢性肝炎・肝硬変に生じる肝内胆管癌の発癌機構の解明	相島 慎一	病理部	156万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
新規抗体を用いたマウスIL-25レセプター発現細胞の同定・純化	有信洋二郎	遺伝子・細胞療法部	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
R-spondin1の腸管保護による造血幹細胞移植の成績向上	豊嶋崇徳	遺伝子・細胞療法部	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
GVHD・GVLに関わる新たなドナーT細胞活性化のメカニズム	豊嶋崇徳	遺伝子・細胞療法部	380万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
Notch-1を発現するヒト造血前駆細胞の純化と分化能解析	岩崎浩己	遺伝子・細胞療法部	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
慢性骨髄性白血病幹細胞を標的とした根的治療法開発のための基礎的研究	岩崎浩己	遺伝子・細胞療法部	100万円	補委 先進医薬研究振興財団
心不全増悪要因としての脳内ナトリウムハンドリング異常:機序解明と治療法の確立	伊藤浩司	救命救急センター	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
シグマ受容体の自律神経調節における役割解明と「心不全・シグマ受容体機能不全・うつ罹患」の関連検討	伊藤浩司	救命救急センター	100万円	補委 貝原守一医学振興財団
幹細胞系メカニズムによる重症左室不全の治療法の開発	日浅謙一	救命救急センター	350万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
慢性疾患のガイドライン診療普及法の開発・実証研究	中島直樹(主任研究)	医療情報部	550万円	補委 厚生労働科学研究費
医療の質の向上のための医療情報利活用における標準化と相互運用性推進に関する諸課題の研究	中島直樹(分担研究)	医療情報部	170万円	補委 厚生労働科学研究費
診療録等標準形式情報を活用した各種定型文書の作成・情報共有に関する研究	中島直樹(分担研究)	医療情報部	300万円	補委 厚生労働科学研究費
知識社会経済システムの共創的發展とそのガバナンスに関する研究	中島直樹(分担研究)	医療情報部	400万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(特定領域研究)
情報大航海プロジェクト・次世代解析技術を活用した携帯情報端末を用いた情報循環方式による健康管理	中島直樹(分担研究)	医療情報部	630万円	補委 経済産業省
JST シーズ発掘試験研究 疾病感受性ゲノム情報による集団リスク階層化技術の開発と応用	中島直樹(委託)	医療情報部	200万円	補委 独立行政法人科学技術振興機構

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
マイクロマニピュレーション機能搭載カプセル型ロボットの開発	橋爪 誠	先端医工学診療部	600万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)
内視鏡外科手術における医療安全水準の向上を目指した教育・訓練システムの確立	田上 和夫	先端医工学診療部	460万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト	橋爪 誠	先端医工学診療部	11,260万円	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構
計算解剖モデルの診断・治療の融合的支援応用	橋爪 誠	先端医工学診療部	1,780万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(新学術領域研究・研究領域提案型)
抗がん剤による末梢神経障害の発現機序解明および予防策・治療法の確立に関する研究	大石 了三	薬剤部	234万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
化学療法剤による腎障害の発現機序解明および予防策の確立に関する研究	矢野 貴久	薬剤部	247万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
がん化学療法レジメン管理における評価支援ツールおよび教育システムの構築と臨床応用	内田 まやこ	薬剤部	35万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(奨励研究)
カロリー制限における新規血糖制御機構と糖尿病性への小胞体ストレス反応について	山座 治義	小児歯科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
歯根膜はその再生に何を必要とするか?	赤峰 昭文	歯内治療科	1,196万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
ヒト歯根膜前駆細胞クローン株を用いた歯根膜組織再生機構の解明	前田 英史	歯内治療科	416万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
水酸化カルシウム貼薬が接着性根管充填用シーラーに及ぼす影響の解析	後藤 康治	歯内治療科	325万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ヒト歯根膜組織再生に関連した遺伝子の同定	藤井 慎介	歯内治療科	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
歯根膜幹細胞を応用した神経再生誘導法の樹立	友清 淳	歯内治療科	273万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
Er:YAGレーザーによる根管内殺菌作用の増強法の開発	松本 妃可	歯内治療科	117万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
抗炎症・骨再生作用を兼ね備えた軟膏によるインプラント周囲炎の新治療法	森山 泰子	義歯補綴科	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
任意形態付与が可能な炭酸アパタイト骨補填材の創製	鈴木 裕美子	義歯補綴科	50.3万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
チタン・生体双方へのアプローチによるインターフェースの構築	古谷野 潔	義歯補綴科	1,196万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
顎関節症およびブラキシズムに対するスプリント治療のランダム化比較試験(RCT)	築山 能大	義歯補綴科	793万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
栄養学的見地による補綴治療効果の次世代型評価法の確立	松山 美和	義歯補綴科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
非侵襲的インプラント術前骨増生法の開発—臨床応用に向けた研究	神野 洋平	義歯補綴科	208万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
インプラント周囲骨吸収に対する負担荷重の関与の解明—特に感染との関連について	古谷野 潔	義歯補綴科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
上顎無歯顎者への低侵襲インプラント治療のための生体力学的プロトコールの確立	松下 恭之	義歯補綴科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
戦略的補綴治療としての補綴前骨造増生を手術なしで行う手法の開発とその原理の検討	鮎川 保則	義歯補綴科	390万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
技工窩壁の骨吸収抑制はオッセオインテグレーションを促進するか	荻野 洋一郎	義歯補綴科	195万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
審美的・機能的なインプラント治療を目指した真の付着上皮再生	熱田 生	義歯補綴科	247万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
任意骨欠損を再生する自己硬化性海綿骨型セメントの開発	辛嶋 哲	義歯補綴科	117万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
包括的な顎顔面形態および顎口腔機能の統合的解析システムの開発	白土 雄司	顎口腔外科	325万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
MAPK経路制御因子Sproutyによるエナメル上皮腫増殖・分化抑制機構の解明	武富 孝治	顎口腔外科	136.5万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(研究活動スタート支援)
癌ベプチドを用いた口腔癌の早期診断法およびオーダーメイド免疫療法の開発	中村 誠司	顎口腔外科	338万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
P63とNotchシグナル伝達系を介した口腔白板症の癌化に関する研究	川野 真太郎	顎口腔外科	117万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
遊離組織移植の生着率向上のための血管吻合手技と管理法の確立	笹栗 正明	顎口腔外科	221万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
口腔自己免疫疾患発症における樹状細胞の役割に関する研究	梯 裕恵	顎口腔外科	143万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
シェーグレン症候群とミクリッツ病/IgG4関連疾患の新概念	森山 雅文	顎口腔外科	169万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
口唇口蓋裂疾患感受性遺伝子群の解明	新井 伸作	顎口腔外科	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
口腔扁平苔癬の発症および病態形成の分子機構におけるT細胞マイクロキメリズムの関与	林田 淳之介	顎口腔外科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
エナメル上皮腫細胞株を用いた浸潤機構の解明—3次元浸潤増殖モデルによる解析—	中尾 祐	顎口腔外科	156万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
fMRIによる咀嚼機能と脳機能のダイナミック解析システムの開発	後藤 多津子	口腔画像診断科	180万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)

合計 292 件



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Research. 29, 2009/5	Efficacy and feasibility of IDEA therapy for refractory or relapsed non-Hodgkin's lymphoma.	Nishimori H, Fujii N, Maeda Y, Matsuoka K, Takenaka K, Shinagawa K, Ikeda K,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Transplant Infectious Disease. 11(4), 2009/8	Infectious complications in patients receiving autologous CD34-selected hematopoietic stem cell transplantation for severe autoimmune diseases.	Kohno K, Nagafuji K, Tsukamoto H, Horiuchi T, Takase K, Aoki K, Henzan H, Kamezaki K, Takenaka K,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
International Journal of Hematology. 90(2), 2009/9	Rituximab for the treatment of corticosteroid-refractory chronic graft-versus-host disease.	Teshima T, Nagafuji K, Henzan H, Miyamura K, Takase K, Hidaka M,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
European Journal of Hematology. 83, 2009/10	The impact of cytogenetic abnormalities on the prognosis of primary myelofibrosis: a prospective survey of 202 cases in Japan.	Hidaka T, Shide K, Shimoda H, Kameda T, Toyama K, Katayose K, Kubuki Y, Nagata K, Takenaka K,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
International Journal of Hematology. 90, 2009/10	Second unrelated cord blood transplantation using a reduced-intensity conditioning regimen combined with gemtuzumab ozogamicin in patients with relapsed acute myelogenous leukemia.	Yamauchi T, Mori Y, Miyamoto T, Kamezaki K, Aoki T, Yamamoto A, Takenaka K, Iwasaki H,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Blood. 114(24), 2009/12	FLT3-ITD upregulates MCL-1 to promote survival of stem cells in acute myeloid leukemia via FLT3-ITD-specific STAT5 activation.	Yoshimoto G, Miyamoto T, Tabrizi SJ, Iino T, Rocnik JL, Kikushige Y, Mori Y, Shima T, Iwasaki H, Takenaka K,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Pancreas. 38(7), 2009/12	Nonmyeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation as immunotherapy for pancreatic Cancer.	Abe Y, Ito T, Baba E, Nagafuji K, Kawabe K, Choi I, Arita Y, Miyamoto T, Teshima T, Nakano S, Harada M.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Bone Marrow Transplantation. 45, 2010/2	Long-term outcomes of autologous PBSCT for peripheral T-cell lymphoma: retrospective analysis of the experience of the Fukuoka BMT group.	Numata A, Miyamoto T, Ohno Y, Kamimura T, Kamezaki K, Tanimoto T, Takase K,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Bone Marrow Transplantation. 44,2010/3	Reduced intensity versus full myeloablative stem cell transplant for advanced CLL.	Peres E, Braun T, Krijanovski O, Khaled Y, Levine JE, Yanik G, Kato K, Mineishi S.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Hepatology 2010 Feb;51(2):567-75	CX3CL1 (fractalkine): A signpost for biliary inflammation in primary biliary cirrhosis.	Shimoda S, Harada K, Niino H, Taketomi A, Maehara Y, Tsuneyama K, Kikuchi K, Nakanuma Y,	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Rheumatology. (Oxford)2009,48	Combination of TNF-RII, CYP1A1 and GSTM1 polymorphisms and the risk of Japanese SLE: findings from the KYSS study.	堀内孝彦 塚本浩	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Transpl. Infect. Dis. 2009,18	Infectious complications in patients receiving autologous CD34-selected hematopoietic stem cell transplantation for severe autoimmune diseases.	塚本浩 堀内孝彦	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Lupus 2010,23	Cigarette smoking, N-acetyltransferase 2 polymorphisms and systemic lupus erythematosus in a Japanese population.	堀内孝彦	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
J. Rheumatol. 2009,36	Cigarette smoking, STAT4 and TNFRSF1B polymorphisms, and systemic lupus erythematosus in a Japanese population.	堀内孝彦	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Mod. Rheumatol. 2009,19	Impact of trough serum level on radiographic and clinical response to infliximab plus methotrexate in patients with rheumatoid arthritis: results from the RISING study.	堀内孝彦	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Int J Mol Med. 2009 May;23(5):603-8.	Impact of cholesterol metabolism and the LXRA $\alpha$ -SREBP-1c pathway on nonalcoholic fatty liver disease.	中牟田 誠	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2009 Jan- Feb;45(1-2):6-9.	The effects of unsaturated fatty acids on lipid metabolism in HepG2 cells.	国府島 庸之	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Hepatol Int. 2009 Jun 16.	The state of cholesterol metabolism in the liver of patients with primary biliary cirrhosis: the role of MDR3 expression.	遠城寺 宗近	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Int J Mol Med. 2009 Dec;24(6):825-8.	Changes in the expression of cholesterol metabolism-associated genes in HCV-infected liver: A novel target for therapy?	中牟田 誠	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Int J Mol Med. 2008 Oct;22(4):521-7.	Therapeutic effect of bezafibrate against biliary damage: a study of phospholipid secretion via the PPAR $\alpha$ -MDR3 pathway.	中牟田 誠	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastroenterol. 2010 Feb 21;16(7):800-3.	Is the control of dietary cholesterol intake sufficiently effective to ameliorate nonalcoholic fatty liver disease?	遠城寺 宗近	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Pancreas 2009年10月	Nonmyeloablative Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation as Immunotherapy for Pancreatic Cancer.	Abe Y, Ito T, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Int J Hematol 2009年5月	Achievement of complete remission of refractory hairy cell leukemia by rituximab progressing after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Kiyasu J, Shiratuschi M, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
NatureCell Biology 2009年8月	Mitochondrial fission factor Drp1 is essential for embryonic development and synapse formation in mice	Nomura M	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Clinical Intervention in Aging 2010年3月	Alendronate improves QOL of post-menopausal women with osteoporosis.	Kawate H	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Geriatrics & Gerontology International 2009年9月	Association of single nucleotide polymorphisms in secreted frizzled-related protein 1 gene with bone mineral density in Japanese women.	Adach M	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
The Journal of Gastroenterology 2010.2	Epidemiological Study of Gastroenteropancreatic Neuroendocrine Tumors in Japan	Ito T, Sasano H, Tanaka M	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Brain Behav Immun. 2010 Jan;24(1):9-16	Mood and gut feelings.	Forsythe P, Sudo N, Dinan T, Taylor VH, Bienenstock J.	心療内科
Pediatr Res. 2009 Jun;65(6):669-74	Influence of maternal bifidobacteria on the establishment of bifidobacteria colonizing the gut in infants.	Mikami K, Takahashi H, Kimura M, Isozaki M, Izuchi K, Shibata R, Sudo N, Matsumoto H, Koga Y.	心療内科
Int J Gen Med. 2009 Dec; 2:163-70	Mental and somatic symptoms related to suicidal ideation in patients visiting a psychosomatic clinic in Japan.	oshimasu K, Kondo T, Tokunaga S, Kanemitsu Y, Sugahara H, Akamine M, Fujisawa K, Miyashita K, Kubo C	心療内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biopsychosoc Med. 2009 Apr; 3:6	Age distribution and gender differences in psychogenic fever patients.	Kaneda Y , Tsuji S, Oka T	心療内科
Psychosom Med. 2009 Nov; 71(9):932-6.	Pyrogenic cytokines did not mediate a stress interview-induced hyperthermic response in a patient with psychogenic fever: a case report.	Hiramoto T, Oka T, Yoshihara K, Kubo C	心療内科
J Neurol Sci 2009 Dec	Long-term effects of infrasternal mediastinoscopic thymectomy in myasthenia gravis.	Murai H	神経内科
Acta Neurol Scand 2009 May	Reduced angiotensin II levels in the cerebrospinal fluid of patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Kawajiri M	神経内科
Respiration. 2009 Mar;78(2):185-90.	Relationship between the body position-specific apnea-hypopnea index and subjective sleepiness.	Tanaka F, Nakano H, Sudo N, Kubo C.	心療内科
Neurology 2009 Apr	Near-infrared soectroscopy in carotid artery stenting predicts cerebral hyperperfusion syndrome.	Matsumoto S	神経内科
Neurology 2009 Sep	Neural damage associated with atopic diathesis: a nationwide survey in Japan.	Isobe N	神経内科
Acta Neuropathol 2009 May	Amyloid-beta accumulation caused by chloroquine injections precedes ER stress and autophagosome formation in rat skeletal muscle.	Ikezoe K	神経内科
Multiple Sclerosis 2009 Jul	Aquaporin-4 autoimmune syndrome and anti-aquaporin-4 antibody-negative opticospinal multiple sclerosis in Japanese.	Matsushita T	神経内科
Multiple Sclerosis 2009 Jul	Aquaporin-4 autoimmune syndrome and anti-aquaporin-4 antibody-negative opticospinal multiple sclerosis in Japanese.	Matsushita T	神経内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Multiple Sclerosis 2009 Dec	Association of anti-Helicobacter pylori neutrophil-activating protein antibody response with anti-aquaporin-4 autoimmunity in Japanese patients with multiple sclerosis and neuromyelitis optica.	Li W	神経内科
Multiple Sclerosis 2009 Sep	Extensive vasogenic edema of anti-aquaporin-4 antibody-related brain lesions.	Matsushita T	神経内科
Multiple Sclerosis 2009 Dec	Association of susceptibility to multiple sclerosis in Southern Han Chinese with HLA-DRB1, -DPB1 alleles and DRB1-DPB1 haplotypes: distinct from other populations.	Wu XM	神経内科
Headache 2009 Nov	Frequency of chronic headaches in Japanese patients with multiple sclerosis.	Doi H	神経内科
Hypertension. 2009 May;53(5):798-804	Inhibition of tumor necrosis factor-alpha-induced interleukin-6 expression by telmisartan through cross-talk of peroxisome proliferator-activated receptor-gamma with nuclear factor kappaB and CCAAT/enhancer-binding protein-beta.	Tian Q, Miyazaki R, Ichiki T, Sunagawa K et al.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Circ Res. 2009 Apr 24;104(8):1004-11.	Acquisition of brain Na sensitivity contributes to salt-induced sympathoexcitation and cardiac dysfunction in mice with pressure overload.	Ito K, Hirooka Y, Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Hypertension. 2009 May;53(5):877-83.	Nanoparticle-mediated delivery of nuclear factor kappaB decoy into lungs ameliorates monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension.	Kimura S, Egashira K, Tominaga R, Sunagawa K et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2009 Jun;29(6):796-801.	Therapeutic neovascularization by nanotechnology-mediated cell-selective delivery of pitavastatin into the vascular endothelium.	Kubo M, Egashira K, Tominaga R, Sunagawa K et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Hypertens Res. 2009 Jun;32(6):466-71.	Resveratrol attenuates angiotensin II-induced interleukin-6 expression and perivascular fibrosis.	Inanaga K, Ichiki T, Sunagawa K et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Clin Exp Hypertens. 2009 May;31(3):241-9.	Cilnidipine inhibits the sympathetic nerve activity and improves baroreflex sensitivity in patients with hypertension.	Kishi T, Hirooka Y, Konno S, Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Hypertens. 2009 May;31(3):281-6	Role of inducible nitric oxide synthase in rostral ventrolateral medulla in blood pressure regulation in spontaneously hypertensive rats.	Kimura Y, Hirooka Y, Kishi T, Ito K, Sagara Y, Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Hypertens Res. 2009 Jul;32(7):542-7	Improvement of neovascularization capacity of bone marrow mononuclear cells from diabetic mice by ex vivo pretreatment with resveratrol.	Gan L, Matsuura H, Ichiki T, Takeda K, Sunagawa K et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部
JACC Cardiovasc Interv. 2009 Apr;2(4):277-83	Formulation of nanoparticle-eluting stents by a cationic electrodeposition coating technology: efficient nano-drug delivery via bioabsorbable polymeric nanoparticle-eluting stents in porcine coronary arteries.	Nakano K, Egashira K, Matoba T, Tominaga R, Sunagawa K et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部
J Cardiol. 2009 Jun;53(3):341-8.	Atorvastatin might improve ventricular electrostability and decelerate the deterioration of renal function in patients with heart failure and diabetes mellitus.	Kishi T, Yamada A, Okamatsu S, Sunagawa K	循環器内科・冠動脈疾患治療部
J Cardiol. 2009 Jun;53(3):463-6.	Bundle branch re-entry ventricular tachycardia in a patient with myotonic dystrophy.	Takeda K, Takemoto M, Mukai Y, Seto T, Ohwaki K, Kaji Y, Chishaki A, Sunagawa K	循環器内科・冠動脈疾患治療部
J Cardiol. 2009 Aug;54(1):115-20	Coronary aneurysm associated with coronary perforation after sirolimus-eluting stents implantation: Close follow-up exceeding 2 years by coronary 3-dimensional computed tomography.	Eshima K, Takemoto M, Inoue S, Higo T, Tada H, Sunagawa K	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2009 Dec;29(12):2132-7.	Inhibition of prolyl hydroxylase domain-containing protein suppressed lipopolysaccharide-induced TNF- $\alpha$ expression	Takeda K, Ichiki T, Sunagawa K et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Hypertens Res. 2009 Dec;32(12):1091-6.	Olmesartan reduces oxidative stress in the brain of stroke-prone spontaneously hypertensive rats assessed by an in vivo ESR method.	Araki S, Hirooka Y, Kishi T, Yasukawa K, Utsumi H, Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 2009;2009:2043-5.	Bionic autonomic neuromodulation revolutionizes cardiology in the 21st century.	Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 2009;2009:2365-8.	Macroscopic two-pump two-vasculature cardiovascular model to support treatment of acute heart failure.	Sugimachi M, Sunagawa K et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Hypertens. 2009 Nov;31(8):698-704.	Atorvastatin improves the impaired baroreflex sensitivity via anti-oxidant effect in the rostral ventrolateral medulla of SHRSP.	Kishi T, Hirooka Y, Konno S, Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Stroke. 2009	Impact of monocyte chemoattractant protein-1 deficiency on cerebral aneurysm formation.	Aoki T, Kataoka H, Ishibashi R, Nozaki K, Egashira K, et al.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Biochem Biophys Res Commun. 2009	MCP-1 expressed by osteoclasts stimulates osteoclastogenesis in an autocrine/paracrine manner.	Miyamoto K, Ninomiya K, Sonoda KH, Miyauchi Y, Hoshi H, Iwasaki R, Miyamoto H, Yoshida S, Sato Y, Morioka H, Chiba K, Egashira K, et al.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
J Exp Med. 2009	Cardiac 12/15 lipoxygenase-induced inflammation is involved in heart failure.	Kayama Y, Minamino T, Toko H, Sakamoto M, Shimizu I, Takahashi H, Okada S, Tateno K, Moriya J, Yokoyama M, Nojima A, Yoshimura M, Egashira K, et al.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Cancer Res. 2009	Blockade of a chemokine, CCL2, reduces chronic colitis-associated carcinogenesis in mice.	Popivanova BK, Kostadinova FI, Furuichi K, Shamekh MM, Kondo T, Wada T, Egashira K, et al	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Pacing Clin Electrophysiol. 2010 Jan;33(1):e4-7.	Para-Hisian pacing for a pediatric patient with a congenitally corrected transposition of the great arteries (SLL).	Takemoto M, Nakashima A, Muneuchi J, Yamamura K, Shiokawa Y, Sunagawa K, Tominaga R.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Hypertension. 2010 Feb;55(2):291-7.	Angiotensin II type 1 receptor-activated caspase-3 through ras/mitogen-activated protein kinase/extracellular signal-regulated kinase in the rostral ventrolateral medulla is involved in sympathoexcitation in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	Kishi T, Hirooka Y, Konno S, Ogawa K, Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
J Cardiovasc Pharmacol. 2010 Feb;55(2):184-90.	Sympathoinhibition induced by centrally administered atorvastatin is associated with alteration of NAD(P)H and Mn superoxide dismutase activity in rostral ventrolateral medulla of stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	Kishi T, Hirooka Y, Konno S, Sunagawa K.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Hypertension 55:610-611,2010. (Editorial Commentary)	Brain perivascular macrophages and central sympathetic activation after myocardial infarction: heart and brain interaction.	Hirooka Y.	循環器内科・冠動脈疾患治療部
Eur J Appl Physiol 108: 1107-1113, 2010.	Effects of a mental task on splanchnic blood flow in fasting and postprandil conditions.	Someya N, Endo MY, Fukuba Y, Hirooka Y, *Hayashi N.	循環器内科・冠動脈疾患治療部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of perinatal medicine. 37(1): 66-71, 2009	Correlation between the presence of liver herniation and perinatal outcome in prenatally diagnosed fetal omphalocele	和氣徳夫	産科婦人科
Biochemical and biophysical research communications. 378(4): 851-856, 2009	Knockout of the l-pgds gene aggravates obesity and atherosclerosis in mice	和氣徳夫	産科婦人科
J Matern Fetal Neonatal Med. 2009 Dec;22(12):1207-10.	Acute onset antenatal fetal neurological injury suspected prenatally based on abnormalities in antenatal testing: a case report.	諸隈誠一	産科婦人科
Gynecologic oncology, 2009	Induction of senescence by progesterone receptor-B activation in response to cAMP in ovarian cancer cells	和氣徳夫	産科婦人科
The American Journal of Pathology. 176(1): 381-92, 2010	Endometrial cancer side-population cells show prominent migration and have a potential to differentiate into the mesenchymal cell lineage	和氣徳夫	産科婦人科
Ultrasound in obstetrics & gynecology. 33(1): 116-118, 2009	Rapid growing cystic variant of choroid plexus papilloma in a fetal cerebral hemisphere	諸隈誠一	産科婦人科
Mod Pathol. 23(2): 225-34, 2010.	Coincident expression of beta-catenin and cyclin D1 in endometrial stromal tumors and related high-grade sarcomas	兼城英輔	産科婦人科
The American journal of human genetics . 86: 918-928, 2010	A Definitive Haplotype Map as Determined by Genotyping Duplicated Haploid Genomes Finds a Predominant Haplotype Preference at Copy-Number Variation Events	和氣徳夫	産科婦人科
Pediatric surgery international. 25(6): 487-492, 2009	Improvement in the outcome of patients with antenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia using gentle ventilation and circulatory stabilization	和氣徳夫	産科婦人科
Journal of clinical ultrasound. 37(7): 410-3, 2009	Three-dimensional power Doppler sonography in the diagnosis of a cystic sacrococcygeal teratoma mimicking a meningomyelocele: A case report:	諸隈誠一	産科婦人科



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Human Pathology. 40(7): 965-974, 2009	Immunohistochemical characterization of mullerian mucinous borderline tumors: possible histogenetic link with serous borderline tumors and low-grade endometrioid tumors	小林裕明	産科婦人科
International Journal of Cancer . 124: 2257-2588, 2009	Homeobox gene HOPX is epigenetically silenced in human uterine endometrial cancer cells by inhibiting serum response factor	和氣徳夫	産科婦人科
International Journal of Gynecological Cancer. 19(5): 838-843, 2009	The Level of RCAS1 Expression Is Inversely Correlated With the Number of Vitamin-Positive Stromal Cells in Epithelial Ovarian Cancer	園田顕三	産科婦人科
J Ultrasound in Medicine 2009. 28(10): 1369-1374, 2009	Preload index of the inferior vena cava as a possible predictive marker of hydropic changes in fetuses with Ebstein anomaly	藤田恭之	産科婦人科
J Clin Ultrasound. 37(2): 107-111, 2009	Prenatal diagnosis of trisomy 16 mosaicism manifested as pulmonary artery stenosis:	和氣徳夫	産科婦人科
Fetal Diagn Ther. 2009;25(3):349-53. Epub 2009 Sep 22.	Prenatal three-dimensional images of proximal focal femoral deficiency produced by helical computed tomography.	諸隈誠一	産科婦人科
Cancer Science. 100(7): 1275-83, 2009	Level of reactive oxygen species induced by p21Waf1/CIP1 is critical for the determination of cell fate	井上貴史	産科婦人科
Hum Pathol. 40(8): 1168-75, 2009	Hobnail-like cells in serous borderline tumor do not represent concomitant incipient clear cell neoplasms	小林裕明	産科婦人科
AJR Am J Roentgenol. 192(6): 1601-7, 2009	Uterine artery embolization along with the administration of methotrexate for cervical ectopic pregnancy: technical and clinical outcomes	矢幡秀昭	産科婦人科
Int J Clin Oncol. 15(1): 52-8, 2010	Sentinel node detection with (99m) Tc phytate alone is satisfactory for cervical cancer patients undergoing radical hysterectomy and pelvic lymphadenectomy	小川伸二	産科婦人科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arzneimittel Forschung Drug Research. 60(4): 205-209, 2010	Comparative study of peripheral neurotoxicity after injection of two different paclitaxel formulations in rats	小林裕明	産科婦人科
Fetal diagnosis and therapy. 24(4): 499-502, 2009	Fetal diagnosis and therapy. 24(4): 499-502, 2009 Spontaneous resolution of cystic hygroma and hydrops in a fetus with Noonan's syndrome	福嶋恒太郎	総合周産期母 子医療センター (母性胎児部 門)
Characteristics and perinatal course of prenatally diagnosed fetal abdominal wall defects managed in a tertiary center in Japan:	The journal of obstetrics and gynaecology research. 35(1): 40-47, 2009	藤田恭之	総合周産期母 子医療センター (母性胎児部 門)
Fetal diagnosis and therapy. 25(1): 158-162, 2009	Prenatal Findings in a Case of Massive Fetomaternal Hemorrhage Associated with Intraplental Choriocarcinoma	福嶋恒太郎	総合周産期母 子医療センター (母性胎児部 門)
Current immunology reviews. 5(3): 243-248, 2009	Neutrophils in Normal Pregnancy and Preeclampsia:	福嶋恒太郎	総合周産期母 子医療センター (母性胎児部 門)
J Ultrasound in Medicine 2009. 28(10): 1369-1374, 2009	Preload index of the inferior vena cava as a possible predictive marker of hydropic changes in fetuses with Ebstein anomaly	藤田恭之	総合周産期母 子医療センター (母性胎児部 門)
Int J Gynecol Cancer. 19(8): 1439-45, 2009	Can we diagnose invasive cervical cancer during pregnancy as precise as in nonpregnant women?: maternal and perinatal outcome in pregnancies complicated with cervical cancers	福嶋恒太郎	総合周産期母 子医療センター (母性胎児部 門)
Pediatric Surgery International, 25(9):753- 7, 2009	Outcome and treatment in an antenatally diagnosed congenital cystic adenomatoid malformation of the lung	永田公二	総合周産期母 子医療センター (新生児外科部 門)
Journal of Pediatric Surgery, 44(12), 2296- 2301, 2009	Cx43 play important roles in the lung development	永田公二	総合周産期母 子医療センター (新生児外科部 門)
Pediatric Surgery International, 25(6): 487-492, 2009	Improvement in the outcome of patients with antenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia using gentle ventilation and circulatory stabilization	増本幸二	総合周産期母 子医療センター (新生児外科部 門)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Cardiol. 2009 Apr;30(3):274-81.	Cardiovascular complications associated with chronic active Epstein-Barr virus infection.	Muneuchi J	総合周産期母子医療センター
Atherosclerosis 2010年1月	Down-regulation of RhoA is involved in the cytotoxic action of lipophilic statins in HepG2 cells	大石了三	薬剤部
Antimicrob Agents Chemother 2009年4月	Amphotericin B-induced renal tubular cell injury is mediated by Na <sup>+</sup> Influx through ion-permeable pores and subsequent activation of mitogen-activated protein kinases and elevation of intracellular Ca <sup>2+</sup> concentration	大石了三	薬剤部
Pain 2009年12月	Oxaliplatin-induced neuropathy in the rat: Involvement of oxalate in cold hyperalgesia but not mechanical allodynia	大石了三	薬剤部
Free Radic Biol Med 2010年1月	Role of oxidative stress in vinorelbine-induced vascular endothelial cell injury	大石了三	薬剤部
九州薬学会会報 2009年10月	緩和ケアチームにおける薬剤師の取り組みとオピオイド使用量からみたその評価	大石了三	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌 2009年12月	アントラサイクリン系抗がん剤の投与時間の短縮による血管外漏出の減少	大石了三	薬剤部
J Immunol: 1490-1499, 2009	T Cell Leukemia/Lymphoma 1 and Galectin-1 Regulate Survival/Cell Death Pathways in Human Naïve and IgM <sup>+</sup> Memory B Cells through Altering Balances in Bcl-2 Family Proteins	Tabrizi SJ, Niïro H, Masui M, Yoshimoto G, Iino T, Kikushige Y, Wakasaki T, Baba E, Shimoda S, Miyamoto T, Hara T and Akashi K	小児科
Pediatr Cardiol. 2009 ;30:274-81	Cardiovascular complications associated with chronic active Epstein-Barr virus infection.	Munouchi J, Ohga S, Ishimura M, Ikeda K, Yamaguchi K, Nomura A, Takada H, Abe Y, Hara T.	小児科
Pediatric Blood Cancer. 2009 ; 54:299-306	Hematopoietic stem cell transplantation for familial hemophagocytic lymphohistiocytosis and Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis in Japan.	Ohga S, Kudo K, Ishii E, Honjo S, Morimoto A, Osugi Y, Sawada A, Tabuchi T, Suzuki N, Ishida Y, Imeshuku S, Kato S, Hara T	小児科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Immunogenet. 36(1):65-8, 2009	Association study between B- and T-lymphocyte attenuator gene and type 1 diabetes mellitus or systemic lupus erythematosus in the Japanese population.	Inuo M, Ihara K, Matsuo T, Kohno H, Hara T:	小児科
Pediatr Transplant 13: 746-753, 2009	Immunotherapy with autologous dendritic cells and tumor antigens for children with refractory malignant solid tumors.	Suminoe A, Matsuzaki A, Hattori H, Koga Y, Hara T	小児科
Pediatr Blood Cancer 52: 888-890, 2009	Long-term survival after autologous peripheral blood stem cell transplantation in two patients with malignant rhabdoid tumor of the kidney.	Koga Y, Matsuzaki A, Suminoe A, Hatano M, Saito Y, Kinoshita Y, Tajiri T, Taguchi T, Kohashi K, Oda Y, Tsuneyoshi M, Hara T	小児科
Hum Immunol 70:468-71, 2009	Lack of association between E148Q MEFV variant and Kawasaki disease.	Yamaguchi K, Ikeda K, Ihara K, Takada H, Kusuhara K, Hara T:	小児科
Epilepsia 50:761-767, 2009	Interleukin-10 is associated with resistance to febrile seizures: genetic association and experimental animal studies.	Ishizaki Y, Kira R, Fukuda M, Torisu H, Sakai Y, Sanefuji M, Yukaya N, Hara T:	小児科
Eur J Pediatr. 2009 ;168:673-	Fulminant sepsis/meningitis due to Haemophilus influenzae in a protein C-deficient heterozygote treated with activated protein C therapy.	Ishimura M, Saito M, Ohga S, Hoshina T, Baba H, Urata M, Kira R, Takada H, Kusuhara K, Kang D, Hara T:	小児科
Eur J Pediatr 168(6): 745-747, 2009	Disseminated Bacillus Calmette-Guérin lymphadenitis in a patient with gp91phox-chronic granulomatous disease 25 years after vaccination.	Kusuhara K, Ohga S, Hoshina T, Saito M, Sasaki Y, Ishimura M, Takada H, Fujita M, Hara T:	小児科
Turk J Pediatr 51:500- 503 2009	Graft-versus-lymphoma effect after reduced intensity allogeneic hematopoietic stem cell transplantation from HLA-two loci mismatched father in a patient with refractory non-Hodgkin lymphoma.	Suminoe A, Matsuzaki A, Koga Y, Hatano M, Hara T, Hara T:	小児科
Emerg Infect Dis 15:1689-91, 2009	Rhombencephalitis and Coxsackievirus A16.	Goto K, Sanefuji M, Kusuhara K, Nishimura Y, Shimizu H, Kira R, Torisu H, Hara T:	小児科
Eur J Pediatr 168: 673- 677, 2009	Fluminant sepsis/meningitis due to Haemophilus influenzae in a protein C-deficient heterozygote treated with activated protein C therapy.	Ishimura M, Saito M, Ohga S, Hoshina T, Baba H, Urata M, Kira R, Takada H, Kusuhara K, KangD, Hara T	小児科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cases J 2: 6809, 2009	Myocarditis mimicking acute coronary syndrome following influenza B virus infection: a case report.	Muneuchi J, Kanaya Y, Takimoto T, Hoshina T, Kusuhara K, Hara T	小児科
Jpn J Infect Dis 62: 236-238, 2009	Cytomegalovirus-associated protein-losing enteropathy resulting from lymphangiectasia in an immunocompetent child.	Hoshina T, Kusuhara K, Saito M, Hara T, Mtsuura S, Yano T, Aoki T, Hara T	小児科
J Med Microbiol 58: 1252-1254, 2009	Neonatal bacterial meningitis caused by Streptococcus gallolyticus subsp. Pasteurianus	Hoshina T, Kusuhara K, Saito M, Hara T, Mtsuura S, Yano T, Aoki T, Hara T	小児科
Anticancer research. 2009年03月	Long-term Outcome of Immunotherapy for Patients with Refractory Pancreatic Cance	Nakamura M	第一外科
International Journal of Computer Assisted Radiology and Surger. 2009年04月	CyberDome, a novel 3-dimensional dome-shaped display system, improves procedures for laparoscopic surgery	Ohuchida K	第一外科
Journal of laparoendoscopic & advanced surgical techniques. Part A. 2009年04月	The impact of visceral fat accumulation on laparoscopy-assisted distal gastrectomy for early gastric cancer	Ueda J	第一外科
Transplantation Proceedings. 2009年12月	Availability of pancreatic Allograft Biopsies Via a Laparotomy	Kitada H	第一外科
Journal of gastrointestinal. surgery 2009年03月	Safety of laparoscopic total mesorectal excision for low rectal cancer with preoperative chemoradiation therapy	Akiyoshi T	第一外科
Gastric cancer. 2009年10月	Intraabdominal Roux-en-Y reconstruction with a novel stapling technique after laparoscopic distal gastrectomy	Noshiro H	第一外科
Gastrointestinal endoscopy. 2009年11月	Teleteaching endoscopy: feasibility of real-time uncompressed video transmission by using advanced network technologies	Kaltenbach T	第一外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
移植. 2009年12月	膵臓移植の長期成績	北田秀久	第一外科
Cancer Science 2009年3月	High expression of BUBR1 is one of the factors for inducing DNA aneuploidy and progression in gastric cancer.	安藤幸滋ら	第二外科
J Gastroenterol Hepatol 2009年2月	Laparoscopic splenectomy may be a superior supportive intervention for cirrhotic patients with hypersplenism.	富川盛雅ら	第二外科
Ann Surg 2009年1月	Impact of Antithrombin III Concentrates on Portal Vein Thrombosis After Splenectomy in Patients With Liver Cirrhosis and Hypersplenism.	川中博文ら	第二外科
Transplantation 2009年3月	Rituximab,IVIg,and plasma exchange without graft local sinfusion treatment:a new protocol in ABO incompatible living donor liver transplantation	池上徹ら	第二外科
Ann Surg Oncol 2009年9月	Chemosensitivity and survival in gastric cancer patients with microsatellite instacity.	沖 英次ら	第二外科
Transplantation 2009年4月	Impact of des-gamma-carboxy prothrombin and tumor size on the recurrence of hepatocellular carcinoma after living donor liver transplantation.	武富紹信	第二外科
Lung Cancer 2009年1月	Significance of the urinary 8-OHdG level as an oxidative stress maker in lung cancer patients.	矢野篤次郎	第二外科
Arthritis & Rheum 60(3):708-716, 2009	CCAAT/enhancer-binding protein beta mediates expression of matrix metalloproteinase-13 in human articular chondrocytes in inflammatory arthritis.	Hayashida M Okazaki K Fukushi J Sakamoto A Iwamoto Y	整形外科
Clinical Orthopaedics and Related Research	Transtrochanteric rotational osteotomy for a subchondral insufficiency fracture of the femoral head in young adults.	Yamamoto T Iwasaki K Iwamoto Y	整形外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Orthopaedics and Related Research	The repair process of osteonecrosis after a transtrochanteric rotational osteotomy.	Yamamoto T Ikemura S Sugioka Y Iwamoto Y	整形外科
Journal of Pediatric Orthopaedics	Transtrochanteric anterior rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head in patients 20 years of age or younger.	Ikemura S Yamamoto T Motomura G Mawatari T Nakashima Y Iwamoto Y	整形外科
J Clin Invest .2009;119(7):1997-2008.	Heparan sulfate deficiency leads to Peters anomaly in mice by disturbing neural crest TGF-beta2 signaling.	Iwao K, Inatani M, Matsumoto Y, Ogata- Iwao M, Takihara Y, Irie F, Yamaguchi Y, Okinami S, Tanihara H	整形外科
J Orthop Surg . 2009;17(3):275-9.	Outcome of osteoplastic laminotomy for excision of spinal cord tumours.	Matsumoto Y, Harimaya K, Doi T, Maeda T, Iwamoto Y.	整形外科
Spine. 2009;34(11):1148-52.	Does ossification of the posterior longitudinal ligament affect the neurological outcome after traumatic cervical cord injury?	Okada S, Maeda T, Ohkawa Y, Harimaya K, Sawai H, Kumamaru H, Matsumoto Y, Doi T, Ueta T, Shiba K, Iwamoto Y.	整形外科
Osteoarthritis and Cartilage	Mevastatin reduces cartilage degradation in rabbit experimental osteoarthritis through inhibition of synovial inflammation.	Akasaki Y, Matsuda S, Nakayama K, Miura H, Fukagawa S, Iwamoto Y	整形外科
Am J Sports Med	Quantitative Assessment of Rotatory Instability after an Anterior Cruciate Ligament Reconstruction.	Tashiro Y, Okazaki K, Miura H, Matsuda S, Yasunaga T, Hashi-zume M, Nakanishi Y, Iwamoto Y	整形外科
J Arthroplasty	Three-dimensional Analysis of CT-based Navigation System for Total Knee Arthroplasty-The Accuracy of CT-based Navigation System-	Mizu-uchi H, Matsuda S, Miura H, Higaki H, Okazaki K, Iwamoto Y	整形外科
Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy	Total knee arthroplasty following failed high tibial osteotomy -Midterm comparison of posterior cruciate-retaining versus posterior stabilized prosthesis-	Akasaki Y, Matsuda S, Miura H, Okazaki K, Moro-oka T, Mizu-uchi H, Iwamoto Y	整形外科
Hypertension 53(5):877-883, 2009年5月	Nanoparticle-mediated delivery of nuclear factor (kappa)B decoy into lungs ameliorates monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension	Kimura S, et al	心臓外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Vasc Surg 50(2):381-387, 2009年8月	Autophagy-mediated stress response in motor neuron after transient ischemia in rabbits	Baba H, et al	心臓外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg 9(2):255-259, 2009年8月	Left ventricular performance in aortic valve replacement	Tanoue Y, et al	心臓外科
J Biol Chem 284(43):29873-29881, 2009年8月	Mammalian formin fhod3 regulates actin assembly and sarcomere organization in striated muscles	Taniguchi K, et al	心臓外科
Scand J Immunol 70(5):423-430, 2009年11月	Effects of lipopolysaccharide on the induction of mixed chimerism in cyclophosphamide-induced tolerance	Onzuka T, et al	心臓外科
J Vasc Surg 51:445-452, 2010年2月	Protective effects of cold spinoplegia with fasudil against ischemic spinal cord injury in rabbits	Baba H, , et al	心臓外科
Interact CardioVasc Thorac Surg 10(2): 350-301, 2010年2月	Atypical presentation of an apical pseudoaneurysm in a patient on prolonged left ventricular mechanical support	Maeda T, et al	心臓外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg 10(2):258-261, 2010年2月	Experimental use of an elastomeric surgical sealant for arterial hemostasis and its long-term tissue response	Oda S, et al	心臓外科
Pediatric Surgery International, 25(9):753-7, 2009	Outcome and treatment in an antenatally diagnosed congenital cystic adenomatoid malformation of the lung	永田 公二	小児外科
Journal of Pediatric Surgery, 44(12), 2296-2301, 2009	Cx43 play important roles in the lung development	永田 公二	小児外科
Journal of Pediatric Surgery, 44:2253-2257, 2009	Risks and benefits of ending of mass screening for neuroblastoma at 6 months of age in Japan	田尻 達郎	小児外科



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology Report, 21(4):881-886, 2009	A preoperative evaluation for neo-infantile liver tumors using a three-dimensional reconstruction of multidetector row CT.	木下 義晶	小児外科
Journal of Pediatric Surgery, 44:1643-1645, 2009	Successful endoscopic unroofing for a pediatric choledochocoele	佐伯 勇	小児外科
Journal of Pediatric Surgery, 44(12):2347-2351, 2009	Clinical features of Hirschsprung's disease associated with Down syndrome : a 30-year retrospective nationwide survey in Japan.	家入 里志	小児外科
Pediatric Surgery International, 25(11): 945-947, 2009	Hirschsprung's disease patients diagnosed at over 15 years of age : an analysis of a Japanese nationwide survey.	東 真弓	小児外科
Pathology International. 59(1):49-52, 2009	Multifocal metanephric adenoma in childhood.	孝橋 賢一	小児外科
Human Pathology. 40(3):349-55, 2009	Infrequent SMARCB1/INI1 gene alteration in epithelioid sarcoma: a useful tool in distinguishing epithelioid sarcoma from malignant rhabdoid tumor.	孝橋 賢一	小児外科
Pediatric Surgery International, 25(6): 487-492, 2009	Improvement in the outcome of patients with antenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia using gentle ventilation and circulatory stabilization	増本 幸二	小児外科
Journal of Parenteral and Enteral Nutrition, 33(4): 17-422, 2009	Need for thiamine in the peripheral parenteral nutrition after abdominal surgery in children	増本 幸二	小児外科
Gene therapy, 16(2) 240-251, 2009	Complete Elimination of Established Neuroblastoma by Synergistic Action of $\gamma$ -Irradiation and DCs Treated with rSeV expressing Interferon- $\beta$ Gene	竜田 恭介	小児外科
Pediatric Surgery International, 25:745-751, 2009	Surgical complications after living donor liver transplantation in patients with biliary atresia: A relatively high incidence of portal vein complications	高橋 由紀子	小児外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Pediatric Surgery, 44(12):2312-5, 2009	Excellent long-term outcome of hepaticojejunostomy for biliary atresia with a hilar cyst	高橋 由紀子	小児外科
World Journal of Gastroenterology, 15(31): 3590-3, 2009	Duodenal stenosis resulting from a preduodenal portal vein and an operation for scoliosis	増本 幸二	小児外科
Journal of Pediatric Surgery, 44(12):2322-6, 2009	Direct vasodilative effect of FK506 on porcine mesenteric artery in small bowel transplantation	秋吉 潤子	小児外科
Pediatric Surgery International, 25(11):955-60, 2009	Mechanism of Rho-kinase-mediated Ca <sup>2+</sup> -independent contraction in aganglionic smooth muscle in a rat model of Hirschsprung's disease	秋吉 潤子	小児外科
Evidence-based Complementary and Alternative Medicine, 2009 Dec 8. [Epub ahead of print]	A Clinical Trial of Kampo Formulae for the Treatment of Symptoms of Yusho, a Poisoning Caused by Dioxins and Related Organochlorine Compounds.	Uchi H, et al.	皮膚科
European Journal of Dermatology. 2009 Sep-Oct;19(5): 461-8.	Clinical efficacy of basic fibroblast growth factor (bFGF) for diabetic ulcer.	Uchi H, et al.	皮膚科
Cancer Sci 100 (1): 138-143, 2009	Allogeneic cell therapy from immunized donors with tumor antigen peptide enhances the antitumor effect after cyclophosphamide-using non-myeloablative allogeneic hematopoietic cell transplantation.	Hamaguchi M, Eto M, Kamiryo Y, Takeuchi A, Harano M, Tatsugami K, Teshima T, Harada M, Yoshikai Y, Naito S:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Int J Urol 16 (1): 87-90, 2009	Photoselective vaporization of the prostate: outcome according to the prostate size in a series of 102 Japanese patients.	Nomura H, Seki N, Yamaguchi A, Naito S:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
J Clin Pathol 62 (3): 260-263, 2009	Impact of reporting rules of biopsy gleason score for prostate cancer.	Kuroiwa K, Uchino H, Yokomizo A, Naito S:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
J Endourol 23 (1): 101-195, 2009	What affects the results of a laparoscopic adrenalectomy for pheochromocytoma? Evaluation with respect to intraoperative blood pressure and state of tumor.	Tatsugami K, Eto M, Hamaguchi M, Yokomizo Y, Harano M, Naito S:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Res 69 (7): 3148-3156, 2009	Programmed cell death protein 4 down-regulates Y-box binding protein-1 expression via a direct interaction with Twist1 to suppress cancer cell growth.	Shiota M, Izumi H, Tanimoto A, Takahashi M, Miyamoto N, Kashiwagi E, Kidani A	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Neurourol Urodyn 28 (3): 197-201, 2009	Analysis of the prognostic factors for overactive bladder symptoms following surgical treatment in patients with benign prostatic obstruction.	Seki N, Yuki K, Takei M, Yamaguchi A, Naito S:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Cancer Res 69 (12): 5151-5158, 2009	Donor CD4 T cells are critical in allogeneic stem cell transplantaion against murine solid tumor.	amiryo Y, Eto M, Yamada H, Yajima T, Harano M,	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Int J Urol 16 (8): 657-663, 2009	Comparison of photoselective vaporization and standard transurethral resection of the prostate on urodynamics in patients with benign prostatic hyperplasia.	Nomura H, Seki N, Yamaguchi A, Naito S:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Int Immunopharmacol 9 (13-14): 1562-1567, 2009	Oral administration of xanthan gum enhances antitumor activity through Toll-like receptor 4.	Takeuchi A, Kamiryoy Y, Yamada H, Eto M,	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Neurourol Urodyn 28 (8): 953-958, 2009	The profiles and patterns of detrusor overactivity and their association with overactive bladder symptoms in men with benign prostatic enlargement associated with detrusor overactivity.	Shahab N, Seki N, Takahashi R, Kajioka S, Takei M, Yamaguchi A, Naito S:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Psychiatr Genet 2009.12	Association analysis of adenosine A1 receptor gene (ADORA1) polymorphisms with schizophrenia in a Japanese population.	Gotoh L	精神科神経科
Schizophr Res 2010.3	Auditory gating deficit to human voices in schizophrenia: A MEG study.	Hirano Y	精神科神経科
Neurosci Res 2009.9	Preattentive visual change detection as reflected by the mismatch negativity (MMN) - evidence for a memory-based process.	Maekawa T	精神科神経科
Journal of Immunology 2009.12	Brain-derived neurotrophic factor (BDNF) induces sustained elevation of intracellular Ca <sup>2+</sup> in rodent microglia.	Mizoguchi Y	精神科神経科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2009.3	Effect of yokukansan on the behavioral and psychological symptoms of dementia in elderly patients with Alzheimer's disease.	Monji A	精神科神経科
J Psychiatr Res 2009.5	Working memory dysfunction in obsessive-compulsive disorder: a neuropsychological and functional MRI study.	Nakao T	精神科神経科
Depress Anxiety 200	Duration effect of obsessive-compulsive disorder on cognitive function: a functional MRI study.	Nakao T	精神科神経科
Clin Neurophysiol 2009.8	Decreased spatial frequency sensitivities for processing faces in male patients with chronic schizophrenia.	Obayashi C	精神科神経科
Brain Imaging Behav 2009.5	Abnormal asymmetry of the face N170 repetition effect in male patients with chronic schizophrenia.	Onitsuka T	精神科神経科
J Psychiatr Res 2010.3	Predictors of treatment response to fluvoxamine in obsessive-compulsive disorder: An fMRI study.	Sanematsu H	精神科神経科
Conf Proc Imaging Signal Processing IEEE 2009.10	Locked to stimulation: significance level of the phase-locking factor.	Ueno T	精神科神経科
Otolaryngol Head Neck Surg. 2009 Jan;140:96-102.	A minimally invasive registration method using surface template-assisted marker positioning (STAMP) for image-guided otologic surgery.	松本 希ほか	耳鼻咽喉・頭頸部外科
American journal of Neuroradiology 30(4):669-673 Apr., 2009	Kyphoplasty and vertebroplasty produce the same degree of height restoration.	Hiwatashi A	放射線科
Journal of Psychiatric Research 43(8):784-791 May., 2009	Working memory dysfunction in obsessive-compulsive disorder: a neuropsychological and functional MRI study.	Nakao T	放射線科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Multiple Sclerosis 15(7):834-847 Jul., 2009	Aquaporin-4 autoimmune syndrome and anti-aquaporin-4 antibody-negative opticospinal multiple sclerosis in Japanese.	Matsushita T	放射線科
American journal of Neuroradiology 30(7):1388-1393 Aug., 2009	Simultaneous measurement of arterial transit time, arterial blood volume, and cerebral blood flow using arterial spin-labeling in patients with alzheimer disease.	Yoshiura T	放射線科
Mult Scler 15(9):1113-1117 Sep., 2009	Extensive vasogenic edema of anti-aquaporin-4 antibody-related brain lesions.	Matsushita T	放射線科
Acta Radiologica 50(5):469-473 Jun., 2009	Microcoil embolization through a downsized coaxial catheter system: an experimental study.	Tajima T	放射線科
European Journal of Radiology 70(3):517-524 Jun., 2009	Radiological detectability of minute hepatic venous invasion in hepatocellular carcinoma.	Nishie A	放射線科
神経治療学	健康関連Quality of Lifeに与える脳卒中後広義のめまいの影響とibudilastの効果 — Outcome Assessment using SF-36v2 In Stroke patients(OASIS)研究より—	篠原幸人、伊藤裕乃、児矢野繁、澤山泰典、荻原万里子、羽鳥浩三、松本真一	総合診療科
Atherosclerosis	The association between fatal vascular events and risk factors for carotid atherosclerosis in patients on maintenance hemodialysis: Plaque number of dialytic atherosclerosis study	Maeda S. Sawayama Y. Furusyo N. Shigematsu M. Hayashi J	総合診療科
感染環境誌	無菌病棟における自動おしぼり機に関連したStenotrophomonas maltophililaによるアウトブレイク	三宅典子、下野信行、前原依子、権藤多栄、長崎洋司、内田勇二郎、村田昌之、林純	総合診療科
Fukuoka Acta Med	Association of chlamydomphila pneumoniae DNA in Peripheral Blood Mononuclear Cells and IgA Antibody with Atherosclerotic Diseases	Sawayama Y. Kikuchi K. Tatsukawa M. Hayashi S. Taira Y. Furusyo N. Hayashi J	総合診療科
Antiviral Research	The longitudinal quantitative assessment by transient elastography of chronic hepatitis C patients treated with pegylated interferon alpha-2b and ribavirin	Ogawa E, Furusyo N, Toyoda K, Takeoka H, Maeda S. Hayashi J	総合診療科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床検査自動化学会誌 34, 228-232.(2009)	尿定性検査の再検査基準の設定に関する検討	西岡祥子, 上野民生, 棚町啓之, 栢森裕三, 康東天.	検査部
臨床化学 38, 308-331.(2009)	血清中HDL-コレステロールおよびLDL-コレステロール測定の勧告法.	栢森裕三, 中村雅一, 中嶋克行, 岸浩司, 花田寿郎, 斎藤和典	検査部
Medical Technology 37, 818-822.(2009)	3.生化学・免疫検査	栢森裕三, 小野美由紀, 康東天	検査部
福岡医学雑誌 100巻, 291-297.(2009)	ミトコンドリアオートファジーの分子機構	神吉智丈	検査部
臨床脳波 51, 185-192.(2009)	脳波検査技師と診療従事者で支えるてんかんのビデオ脳波モニタリング検査	酒田あゆみ, 森岡隆人, 重藤寛史, 吉良龍太郎,	検査部
臨床病理 57, 978-986.(2009)	シスプラチン感受性規定因子とミトコンドリアDNA維持機構	内海健, 康東天	検査部
Autophagy 5, 1186-1189.(2009)	Monitoring mitophagy in yeast: The Om45-GFP processing assay.	Kanki, T., Kang, D., Klionsky, D	検査部
Toxicon 54, 399-407.(2009)	Island specific expression of a novel [Lys(49)]phospholipase A(2) (BPIII) in Protobothrops flavoviridis venom in Amami-Oshima, Japan	Murakami, T., Kariu, T., Takazaki, S., Hattori, S., Chijiwa, T., Ohno, M., Oda-Ueda, N.	検査部
J Biol Chem 284, 21446-21457.(2009)	Human heart mitochondrial DNA is organized in complex catenated networks containing abundant four-way junctions and replication forks	Pohjoismaki, J. L., Goffart, S., Tyynismaa, H., Willcox, S., Ide, T., Kang, D., Suomalainen	検査部
Clinica Chimica Acta 407, 75-76.(2009)	High-dose penicillin G-treatment causes underestimation of serum albumin measured by a modified BCP method	Ono, M., Aoki, Y., Masumoto, M., Hotta, T., Uchida, Y., Kayamori, Y., Kang, D.	検査部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Biol Cell 20, 4730-4738.(2009)	A Genomic Screen for Yeast Mutants Defective in Selective Mitochondria Autophagy.	Kanki, T., Wang, K., Baba, M., Bartholomew, C., Lynch-Day, M., Du, Z., Geng, J., Mao, K., Yang, Z., Yen, W.,	検査部
Eur J Pediatr 168, 673-677.(2009)	Fulminant sepsis/meningitis due to Haemophilus influenzae in a protein C-deficient heterozygote treated with activated protein C therapy	Ishimura, M., Saito, M., Ohga, S., Hoshina, T., Baba,	検査部
Genes Cells 14, 1029-1042.(2009)	DNA conformation-dependent activities of human mitochondrial RNA polymerase	Fukuoh, A., Ohgaki, K., Hatae, H., Kuraoka, I.	検査部
Ann Clin Biochem 46, 296-301.(2009)	Development of a new measurement method for serum calcium with chlorophosphonazo-III.	Hokazono, E., Osawa, S., Nakano, T., Kawamoto, Y.,	検査部
Dev Cell 17, 98-109.(2009)	Atg32 is a mitochondrial protein that confers selectivity during mitophagy	Kanki, T., Wang, K., Cao, Y., Baba, M., Klionsky, D.	検査部
J Magn Reson Imaging. 2010 Feb;31(2):373-82.	Detection of hepatocellular carcinoma (HCC) using super paramagnetic iron oxide (SPIO)-enhanced MRI: Added value of diffusion-weighted imaging (DWI).	Nishie A	放射線科
AJR Am J Roentgenol. 2010 Feb;194(2):W208-11	Joint position affects muscle proton diffusion: Evaluation with a 3-T MR system.	Hatakenaka M,	放射線科
J Magn Reson Imaging. 2009 Jul;30(1):112-20.	MR prediction of postnatal outcomes in left-sided congenital diaphragmatic hernia using right lung signal intensity: comparison with that using right lung volume.	Nishie A,	放射線科
BBRC 381:471-476, 2009	Antiangiogenic immunotherapy targeting Flk-1, DNA vaccine and adoptive T cell transfer, inhibits ocular neovascularization.	Zhang H, Ishibashi T:	眼科
Nature 460:225-230, 2009	CCR3 is a target for age-related macular degeneration diagnosis and therapy.	Takeda A, Ishibashi T:	眼科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ophthalmology 116:2135-2140, 2009	Nine-year incidence and risk factors for age-related macular degeneration in a defined Japanese population the Hisayama study.	Yasuda M, Ishibashi T:	眼科
Hum Gene Ther 20(6):573-579, 2009	Stable retinal gene expression in nonhuman primates via subretinal injection of SIVagm-based lentiviral vectors.	Ikeda Y, Ishibashi T.	眼科
Hum Gene Ther 20(9):943-954, 2009	Acute toxicity study of a simian immunodeficiency virus-based lentiviral vector for retinal gene transfer in nonhuman primates.	Ikeda Y, Ishibashi T.	眼科
International Journal of cancer 2009, Apr	Chemokine receptor CXCR4 expression is correlated with VEGF expression and poor survival in soft-tissue sarcoma.	小田 義直	病理部
Journal of Pathology 2009, Sep	Altered expression of MUTYH and an increase in 8-hydroxydeoxyguanosine are early events in ulcerative colitis-associated carcinogenesis.	具嶋 正樹	病理部
NEOPLASIA 2009, Jul	LMO2 Is Novel Predictive Marker for a Better Prognosis in Pancreatic Cancer.	仲田 興平	病理部
Modern Pathology 2010, Feb	Coincident expression of $\beta$ -catenin and cyclin D1 as a contrasting feature of the traditional category "high-grade endometrial stromal sarcoma: analysis of the Wnt signalling pathway in 37 cases of endometrial stromal and related tumors.	栗原 秀一	病理部
Human Pathology 2010, Feb	N-myc downstream regulated gene 1 (NDRG1)/Cap43 may play an important role in malignant progression of prostate cancer, in its close association with E-cadherin.	宋 裕賢	病理部
American Journal of Physiology. Heart and circulatory physiology. 2009, Nov	VEGF-C regulates lymphangiogenesis and capillary by regulation of PDGF-B.	鬼丸 満穂	病理部
American Journal of Kidney Diseases : the official journal of the National kidney Foundation 2010 Jan	Association of kidney function with coronary atherosclerosis and calcification in autopsy samples from Japanese elders: the Hisayama study.	中野 敏昭	病理部



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Arch Otorhinolaryngol (2009.1)	The engraftment of transplanted bone marrow-derived cells into the inner ear.	Orita Y, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Cancer Sci (2009.1)	Allogeneic cell therapy from immunized donors with tumor antigen peptide enhances the antitumor effect after cyclophosphamide-using non-myeloablative allogeneic hematopoietic cell transplantation.	Hamaguchi M, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Blood (2009.2)	Improved outcome of allogeneic bone marrow transplantation due to breast-feeding-induced tolerance to maternal antigens.	Aoyama K, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Blood (2009.2)	Plasmacytoid dendritic cells prime alloreactive T cells to mediate graft-versus-host disease as antigen-presenting cells.	Koyama M, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Int J Hematol (2009.3)	Oral valganciclovir as preemptive therapy is effective for cytomegalovirus infection in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Takenaka K, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Transpl Infect Dis (2009.8)	Infectious complications in patients receiving autologous CD34-selected hematopoietic stem cell transplantation for severe autoimmune disease.	Kohno K, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Int J Hematol (2009.9)	Rituximab for the treatment of corticosteroid-refractory chronic graft-versus-host disease.	Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Pancreas (2009.10)	Nonmyeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation as immunotherapy for pancreatic cancer.	Abe Y, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Int J Hematol (2009.10)	Second unrelated cord blood transplantation using a reduced conditioning regimen combined with gemtuzumab ozogamicin in patients with relapsed acute myelogenous leukemia.	Yamauchi T, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部
Bone Marrow Transplant (2010.2)	Long-term outcomes of autologous PBSCT for peripheral T-cell lymphoma: retrospective analysis of the experience of the Fukuoka BMT group.	Numata A, Teshima T, et al	遺伝子・細胞療法部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetologia (2010.1)	Single pancreatic beta cells co-express multiple islet hormone genes in mice.	Katsuta H, Arinobu Y, et al	遺伝子・細胞療法部
J Exp Med (2009,1)	Identification of the human eosinophil lineage-committed progenitor: revision of phenotypic definition of the human common myeloid progenitor.	Mori Y, Iwasaki H, et al	遺伝子・細胞療法部
Int J Hematol (2010,1)	Successful treatment of refractory advanced nasal NK/T cell lymphoma with unrelated cord blood stem cell transplantation incorporating focal irradiation.	Mori Y, et al	遺伝子・細胞療法部
Ultrasound Med Biol 35:1068-1075, 2009	Flow Volume and Cross-sectional Area of the Extracranial Vertebral Arteries and its Relation to Vascular Lesions or Anatomical Variations in the Posterior Circulation	Sugimori H	救命救急センター
Nat Med 15:946-950, 2009	Pivotal role of cerebral interleukin-17-producing $\gamma \delta$ T cells in the late phase of ischemic brain injury.	Sugimori H	救命救急センター
Intern Med 48:77-80, 2009	Cardiac papillary fibroelastoma as a cause of embolic stroke: ultrasound and histopathological characteristics.	Kuwashiro T	救命救急センター
Osteoarthritis and Cartilage 17:235-43, 2009	Mevastatin reduces cartilage degradation in rabbit experimental osteoarthritis through of synovial inflammation.	kasaki Y	救命救急センター
osteoarthritis. ClinCalcium 19:1653- 1662 2009	Progress of Research for Osteoarthritis. The anti-inflammatory effects of intra-articular injected statin on experimental	Akasaki Y	救命救急センター
Diabetes 2009年07月	Confirmation of multiple risk Loci and genetic impacts by a genome-wide association study of type 2 diabetes in the Japanese population.	Takeuchi.F Serezawa .M Yamamoto.K Fujisawa.T	医療情報部
Telemedicine J E Health 2009年01月	One hundred case studies of Asia-Pacific telemedicine using Digital Video Transport system over Research and Network.	Simizu.S Nakashima.N	医療情報部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Telemed J E Health. 15(1):112-117, 2009	One hundred case studies of Asia-Pacific telemedicine using Digital Video Transport System over Research and Education Network	Shimizu S, Nakashima N, Okamura K, Tanaka M	光学医療診療部
Gastrointest. Endosc. 70(5):1013-1017, 2009	Teleteaching endoscopy: feasibility of real-time uncompressed video transmission by using advanced network technologies.	Kaltenbach T, Muto M, Soetikno R, Dev P, Okamura K, Hahm J, Shimizu S	光学医療診療部
Nat Genet. 41(12):1325-9, 2009	A genome-wide association study identifies three new susceptibility loci for ulcerative colitis in the Japanese population	Asano K, Matsushita T, Umeno J, Matsumoto T, Iida M	光学医療診療部
IEEE Trans Biomed Eng 56: 426-432, 2009	Medical Navigation System for Otologic Surgery Based on Hybrid Registration and Virtual Intraoperative Computed Tomography.	Hong J.	先端医工学診療部
Surg Endosc 23: 1048-1053, 2009	Tumor ablation therapy of liver cancers with an open magnetic resonance imaging-based navigation system	Maeda T.	先端医工学診療部
Int J Comput Assist Radiol Surg.	The effect of CyberDome, a novel 3-dimensional dome-shaped display system, on laparoscopic procedures	Ohuchida K	先端医工学診療部
Minim Invasive Ther Allied Technol, 19(1):24-9, 2010	Skills assessment using a virtual reality simulator, LapSim, after training to develop fundamental skills for endoscopic surgery	Tanoue K,	先端医工学診療部
Journal of Pediatric Surgery 2009年12月	Connexin43 plays an important role in lung development	野中和明	小児歯科
Free Radical Research 2010年2月	Involvement of mTOR in globular adiponectin-induced generation of reactive oxygen species.	野中和明	小児歯科
The Journal of Biomedical Chemistry 2009年10月	Critical role of heparin binding domains of ameloblastin for dental epithelium cell adhesion and ameloblastoma proliferation.	野中和明	小児歯科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
FEMS Immunology & Medical Microbiology 2009年8月	Anti-inflammatory activity of a globular adiponectin function on RAW 264 cells stimulated by lipopolysaccharide from <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> .	山口登	小児歯科
European Journal of Orthodontics 2009年5月	The P561T polymorphism of the growth hormone receptor gene has an inhibitory effect on mandibular growth in young children	野中和明	小児歯科
Nature Cell Biology 2009年8月	Mitochondrial fission factor Drp1 is essential for embryonic development and synapse formation in mice.	増田啓次	小児歯科
Journal of Immunology 2009年8月	A critical role for REV1 in regulating the induction of C:G transitions and A:T mutations during Ig gene hypermutation.	増田啓次	小児歯科
Biological & Pharmaceutical Bulletin Vol. 32 (2009), No. 5 876	Attenuation of 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin toxicity by resveratrol: a comparative study with different routes of administration.	Ishida Tら	歯内治療科
日本歯科保存学会誌 52 (4):355-362. 2009	MTAがヒト歯根膜線維芽細胞に及ぼす影響に関する研究.	前田ら	歯内治療科
日本歯科保存学会誌、52 (6):505-512. 2009	歯内療法への根管用内視鏡の応用 第1報 歯根破折または穿孔を伴う慢性根尖性歯周炎の2症例.	坂田ら	歯内治療科
日本歯科保存学会誌、52 (6):483-492. 2009	ミニマルインターベンションに基づく修復法の臨床応用に関する実態調査.	松下ら	歯内治療科
Acta Biomaterialia, in press.	Local application of fluvastatin improves peri-implant bone quantity and mechanical property. A rodent study.	Moriyama Yら	義歯補綴科
J Biomed Mater Res (A), in press.	Tissue-response to calcium-bonded titanium surface.	Ayukawa Yら	義歯補綴科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Oral Rehabil. Vol.37(2):123-130, 2010.	Simvastatin enhances bone formation around titanium implants in rat tibiae.	Ayukawa Y <sup>ら</sup>	義歯補綴科
Biomaterials 2010 Feb; 31(12):3327-3334.	The effect of a single remote injection of statin-impregnated poly (lactic-co- glycolic acid) microspheres on osteogenesis around titanium implants in rat tibia.	Masuzaki T <sup>ら</sup>	義歯補綴科
J Biomech Sci Eng 2009 Jul; 4(3):326-335.	The alteration of peri-implant bone response exposed to static lateral load.	Moriyama Y <sup>ら</sup>	義歯補綴科
Acta Biomaterialia. 1,Nov ,2009.	Local application of fluvastatin improves peri-implant bone quantity and mechanical property. A rodent study.	Moriyama Y <sup>ら</sup>	義歯補綴科
Clin Oral Implants Res. 20(8):756-760, Aug ,2009.	Vertical bone augmentation with fluvastatin in an injectable delivery system: a rat study.	Jinno Y <sup>ら</sup>	義歯補綴科
Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology and Endodontology 2009 July, 108(1)	Sonographic diagnosis for Mikulicz disease.	M Shimizu, M Moriyama	顎口腔外科
Clinical Nephrology 2009 December	An amplification of IL-10 and TGF- beta in patients with IgG4-related tubulointerstitial nephritis	H Nakashima, K Miyake, M Moriyama	顎口腔外科
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 2009 October 67(10)	Postoperative Nasal Forms After Presurgical Nasoalveolar Molding Followed by Medial- Upward Advancement of Nasolabial Components With Vestibular Expansion for Children With Unilateral Complete Cleft Lip and Palate	N. Nakamura, M.Sasaguri	顎口腔外科
歯科放射線 49巻 7-12, 2009	顎顔面CT撮影における患者被曝線 量の低減 localizer imageについて	岡村和俊	口腔画像診断 科
歯科放射線 49巻 1-6, 2009	歯科用デジタル画像診断システム Digora Optimeの画質評価	岡村和俊	口腔画像診断 科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod.108(1): 105-13, 2009	Sonographic diagnosis for Mikulicz disease.	Mayumi Shimizu	口腔画像診断科
Ultrasound in Med.& Biol.35(8):1257-1264, 2009	A quantitative analysis of sonographic images of the salivary gland: A comparison between the sonographic findings and the sialographic findings	oru Chikui	口腔画像診断科
Oral Radiol.25:22-29, 2009	A fast Look-Locker method for T1 mapping of the head and neck region.	Toru Chikui	口腔画像診断科
Acta Radiol.51(1):58-63, 2010	Effect of clenching on T2 and diffusion parameters of the masseter muscle.	Toru Chikui	口腔画像診断科

合計 294件

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 久保千春
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 大石了三 総務課長 松田篤郎 医療管理課長 吉田義正

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 紹介状、退院した患者に係る入院期間中の 診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 放射線部 薬剤部 総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来紙カルテは、昨年度半ばまで各診療科にて分散管理されていたが、H21年12月25日をもって診療録管理室にて一括中央管理化にて保管している。</li> <li>・入院紙カルテは、平成17年4月1日退院患者より診療録管理室にて一括中央管理にて保管。それ以前のカルテは、各診療科にて保管管理している。</li> <li>・エックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。</li> <li>・平成20年2月1日外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。</li> </ul>	
エックス線写真				
処方せん				
病院日誌				
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	患者サービス課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携センター		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課 薬剤部		
	第規一則号第一掲条の十体一制第一確項保各の号状及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療管理課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療管理課		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		総務課		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		総務課		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		総務課		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		総務課		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療管理課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 三井 大造
閲覧担当者氏名	総務課長 松田 篤郎
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.7 %	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		17,232人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,047人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,670人
	D: 初診の患者の数		26,026人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理は、病院長のもとで医療安全管理委員会を中心に関連部署と連携し病院全体で取り組むこと。</p> <p>(2) 職員は医療安全管理に関する教育や研修に積極的に参加すること。</p> <p>(3) 医療安全管理対策・改善策等の情報は、職員にフィードバックし、職員全体で共有すること。</p> <p>(4) 医療事故等が発生した場合には、医療上の最善の措置をすみやかに講じ、患者さんやご家族・ご遺族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実に、かつすみやかに説明すること。</p> <p>(5) 「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知すること。</p> <p>(6) 医療安全管理に関する基本方針を院内掲示板等にて公開すること。</p> <p>(7) 患者さんからの相談のうち、特に医療安全に関わりがあると判断された事例については、セーフティマネージャーが対応すること。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。</p> <p>(2) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</p> <p>(3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。</p> <p>(4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。</p> <p>(5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。</p> <p>(6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。</p> <p>(7) 医療事故等発生時の患者や家族への説明に関すること。</p> <p>(8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。</p> <p>(9) 医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関すること。</p> <p>(10) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>別紙のとおり</p>	

<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> <li>① 診療録記載における時刻の設定について 患者急変時など重要な場面での記載時刻が記載者ごとに異なる問題が生じたため、HIS端末の時刻を院内の標準時刻として、記録するよう指導した。</li> <li>② 入院患者の転倒転落予防について DVDの放映を開始したが、タイミングよく視聴することが難しいとの声があり、放映内容の静止画像をプリントした冊子(紙芝居方式)を作成し、各部署に配付した。これにより、患者の状態に合わせた患者指導が可能になった。</li> </ul> </li> </ul>	
<p>⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況</p>	<p>( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ( 3名 ) ・ 無</p>
<p>⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況</p>	<p>( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ( 2名 ) ・ 無</p>
<p>⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況</p>	<p>( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ・ 無</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 17 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること。</li> <li>(2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(3) 患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(5) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。</li> <li>(6) 医療安全に係る職員の教育・研修に関すること。</li> <li>(7) 医療安全に係る連絡調整に関すること。</li> <li>(8) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</li> <li>(9) その他医療安全対策の推進に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ・ 無</p>

平成21年度 医療安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年5月14日	25分	47	医療安全管理研修会(二内科)	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
2	平成21年5月18日	60分	462			
3	平成21年5月19日	60分	495	医療安全・院内感染対策合同研修会	①院内で発生している事例についてー平成20年度のまとめー ②院内感染対策上必要な届け出について	①秋好セーフティマネージャー ②1日目:検査部助教 内田 謙二郎 ③2日目:免疫膠原病感染症内科助教 下野 信行 ④3日目:総合診療科講師 村田 昌之
4	平成21年5月21日	60分	435			
5	平成21年6月25日	90分	367	呼吸管理セミナー(医療安全管理部共催)	①看護サイトからみた呼吸管理 ②院内肺炎の治療 ③酸素療法と気道確保	①集中治療部副看護長 鳥羽 好和 ②呼吸器科医員 原田 英治 ③麻酔科蘇生科助教 森川 敬子
6	平成21年7月9日	25分	21	医療安全管理研修会(心療内科)	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
7	平成21年7月23日	60分	377			
8	平成21年7月23日	60分		医療安全・院内感染対策合同研修会(ビデオ)	①医療現場における感染対策の実態(1) ②患者確認は安全管理の第一歩 ③転倒転落予防	ビデオ教材
9	平成21年7月24日	60分	341			
10	平成21年7月24日	60分		医療安全管理研修会 (心肺蘇生サポート・医薬品安全委員会共催)	鎮静剤の安全な使用について	麻酔科蘇生科助教 山浦 健
11	平成21年7月29日	60分	241	医療安全管理研修会 (心肺蘇生サポート・医薬品安全委員会共催)	ヒューマンエラー低減への基礎知識 ーエラー発生メカニズムとエラー対策の発想手順ー	自治医科大学医学部 医療安全学教授 河野 龍太郎
12	平成21年8月21日	90分	206	医療安全管理研修会		
13	平成21年9月1日	60分	176	医療安全管理研修会 (医療機器安全管理専門委員会共催)	①モニターのアラームと安全管理 ②電気の安全な使用について ③除細動器の取り扱いについて	①日本光電 ②、③MIEセンター
14	平成21年9月2日	60分	183			
15	平成21年10月28日	90分	293	呼吸管理セミナー(医療安全管理部共催)	①呼吸理学療法の実態 ②院内人口呼吸器使用上の注意点 ③IPPVとNIPPVについて	①医療技術部 リハビリ部門 上島 隆秀 ②MIEセンター 佐々野 浩一 ③救命救急センター助教 白水 和宏
16	平成21年11月9日	30分	28	医療安全管理研修会(救命救急センター・ICU)	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
17	平成21年11月10日	90分	115			
18	平成21年11月10日	90分		医療安全管理研修会 (8/21研修会録画ビデオ使用)	ヒューマンエラー低減への基礎知識 ーエラー発生メカニズムとエラー対策の発想手順ー	自治医科大学医学部 医療安全学教授 河野 龍太郎
19	平成21年11月11日	90分	83			
20	平成21年11月11日	90分		医療安全管理研修会(心療内科) (8/21研修会録画ビデオ使用)	ヒューマンエラー低減への基礎知識 ーエラー発生メカニズムとエラー対策の発想手順ー	自治医科大学医学部 医療安全学教授 河野 龍太郎
21	平成21年11月19日	90分	20	医療安全管理研修会	自殺予防について	精神科神経科助教 三浦 智史
22	平成21年11月25日	60分	260			
23	平成21年12月8日	60分	109	災害救急セミナー(医療安全管理部共催)	九州大病院におけるハリー・コーネルシステム他	①災害救急医学講座助教 漢那 朝雄 ②Marie R Baldesseri,M.D.
24	平成21年12月14日	90分	20	医療安全管理研修会(全身管理歯科) (8/21研修会録画ビデオ使用)	ヒューマンエラー低減への基礎知識 ーエラー発生メカニズムとエラー対策の発想手順ー	自治医科大学医学部 医療安全学教授 河野 龍太郎
25	平成21年12月16日	60分	152	医療安全管理研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	①麻薬、向精神薬、筋弛緩薬の管理について ②院内で発生した事故事例について ③事故発生時の手続きと処理について ④薬品の管理に関する質疑応答	①薬剤部部長 大石 了三 ②薬剤部麻薬係長 平川 良宏 ③薬剤部麻薬係 辻 敏和 ④薬剤部副部長 末安 正典
26	平成21年12月28日	60分	61	医療安全管理研修会(麻酔科蘇生科・手術部)	①院内で発生したインシデントについて(8/21研修会録画ビデオ使用) ②伝播防止のための感染対策	①秋好セーフティマネージャー ②権藤 隆雄 対策担当看護師長

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修芸名	テーマ等	講師等
27	平成22年1月4日	60分	63	医療安全管理研修会(麻酔科・外科・手術部)	①処置別感染防止策と職員感染予防 ②ヒューマンエラー低減への基礎知識(8/21研修会録画ビデオ使用)	①ビデオ教材 ②自治医科大学医学部 医療安全学教授 河野 龍太郎
28	平成22年1月29日	90分	146	個人情報保護セミナー(医療安全管理部共催)	病院における個人情報 一とりわけ診療記録情報の取り扱いにおける留意点一	弁護士 法人 奔流 弁護士 池永 満
29	平成22年2月4日	90分	204	呼吸管理セミナー(医療安全管理部共催)	①九州大病院における呼吸管理プロトコル策定に向けて ②ARDSの診断と治療一現状と問題点一	①救命救急センター助教授 野田 英一郎 ②済生会熊本病院呼吸器センター部長兼健診センター長 普 守隆
30	平成22年2月8日	60分	80			
31	平成22年2月9日	60分	366	医療安全・院内感染対策合同ビデオ研修会	①感染経路別予防策 ②与薬を安全に実施するために	ビデオ教材
32	平成22年2月9日	60分				
33	平成22年2月12日	60分	200			
34	平成22年2月16日	90分	143	九大病院改革セミナー(医療安全管理部共催)	医療の質を測る・改善する 一診療プロセスの可視化について一	北海道大病院 医療マネジメント寄附研究部門 特任准教授 藤森 研司
35	平成22年2月22日	60分	523	院内感染対策・医療安全管理合同研修会	カテーテル関連血流感染予防はカテーテル管理だけで十分?	国際医療福祉大学大学院 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部教授 操 華子
36	平成22年3月4日	60分	47	医療安全管理研修会(細菌補綴科、改合補綴科)	①みんなでも考えよう医療事故防止対策! ルールを守って安全確保 ②処置別感染防止策と職業感染予防策	ビデオ教材
37	平成22年3月11日	60分	40	医療安全管理研修会(歯内治療科)	①みんなでも考えよう医療事故防止対策! ルールを守って安全確保 ②処置別感染防止策と職業感染予防策	ビデオ教材
38	平成22年3月13日	60分	27	院内感染対策・医療安全管理合同ビデオ研修会 (麻酔科・外科・手術部) (3/2研修会録画ビデオ使用)	カテーテル関連血流感染予防はカテーテル管理だけで十分?	国際医療福祉大学大学院 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部教授 操 華子
39	平成22年3月15日	60分	76			
40	平成22年3月16日	60分	26	院内感染対策・医療安全管理合同ビデオ研修会 (3/2研修会録画ビデオ使用)	カテーテル関連血流感染予防はカテーテル管理だけで十分?	国際医療福祉大学大学院 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部教授 操 華子
41	平成22年3月18日	60分	137			
42	平成22年3月18日	60分				
43	平成22年3月16日	60分	37	医療安全・院内感染対策合同研修会(小児科)	①九大病院の医療安全の現状 ②感染経路別予防策	①秋好セーフティマネージャー ②ビデオ教材
44	平成22年3月18日	60分	19	医療安全管理研修会(皮膚科)	九大病院の医療安全の現状	秋好セーフティマネージャー
	小計		6,626	一人あたり	2.49	回

○ 採用者への研修会

<対象者:採用者合同(医師・看護師・薬剤師・コメディカル・事務等)>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年4月1日	60分	534	新採用者合同オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
2	平成21年7月2日	40分	8	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
3	平成21年7月2日	40分	4	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
4	平成21年7月3日	40分	8	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
5	平成21年7月3日	40分	9	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
6	平成21年11月2日	25分	116	中途採用者合同オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
7	平成22年1月27日	40分	19	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
8	平成22年1月29日	40分	13	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
9	平成22年3月1日	40分	6	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
10	平成22年3月1日	40分	5	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
11	平成22年3月2日	40分	12	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
12	平成22年3月3日	40分	10	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
	小計		744			

<対象者:看護師>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年4月16日	60分	113	新採用者看護師部オリエンテーション	安全確保の技術	秋好セーフティマネージャー
2	平成21年5月1日	90分	78	フォローアップ研修	薬剤の基礎知識	医薬品安全管理副責任者 宋安 正典
3	平成21年8月3日	0.5日	3	中途採用者看護部オリエンテーション	医療安全管理について 病院感染対策について 他	松本副看護部長、秋好セーフティマネージャー、 安永感染対策担当副看護部長、杉本情報担当看護師長
4	平成21年10月1日	0.5日	5	中途採用者看護部オリエンテーション	医療安全管理について 病院感染対策について 他	松本副看護部長、秋好セーフティマネージャー、 安永感染対策担当副看護部長、杉本情報担当看護師長
5	平成22年1月4日	0.5日	6	中途採用者看護部オリエンテーション	医療安全管理について 病院感染対策について 他	松本副看護部長、塩屋セーフティマネージャー、 安永感染対策担当副看護部長、外
	小計		205			

○ 職種別研修会

<対象者:医師>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年5月14日	40分	17	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之
2	平成21年5月15日	40分	9	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部薬品試験係 柳瀬 悠子
3	平成21年5月19日	40分	12	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 大場 俊弘
4	平成21年5月21日	40分	7	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 角田 朋子
5	平成21年5月29日	30分	42	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部薬品試験係 柳瀬 悠子
6	平成21年7月14日	35分	10	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 中島 貴文
小計			97			

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年5月13日	40分	30	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部薬品試験係 柳瀬 悠子
2	平成21年6月1日	(0.5日)×2	78	看護部院内研修「リスク管理1」レベル1	「リスク管理1」レベル1	秋好セーフティマネージャー 構成員感染対策担当看護師長、安永感染対策担当副看護 秋好セーフティマネージャー
3	平成21年6月3日	0.5日	38	看護部院内研修「リスク管理1」レベル1	「リスク管理1」レベル1	秋好セーフティマネージャー 構成員感染対策担当看護師長、安永感染対策担当副看護
4	平成21年6月4日	60分	33	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門 委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
5	平成21年6月5日	60分	13	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門 委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
6	平成21年6月8日	60分	26	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門 委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
7	平成21年6月9日	60分	26	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門 委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
8	平成21年6月10日	60分	15	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門 委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
9	平成21年7月23日	60分	26	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之
10	平成21年7月28日	(0.5日)×2	53	看護部院内研修「リスク管理」	「リスク管理」	秋好セーフティマネージャー 構成員感染対策担当看護師長、安永感染対策担当副看護
11	平成21年10月9日	90分	68	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 未安 正典
12	平成21年10月14日	40分	21	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係担当 者
13	平成21年10月28日	40分	15	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係担当 者
14	平成21年11月6日	90分	81	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 未安 正典
15	平成21年12月3日	60分	24	緩和ケア担当看護師定例会	オピオイドの副作用について	薬剤部 内田 まよこ
16	平成21年12月18日	90分	86	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 未安 正典
17	平成22年1月22日	90分	93	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 未安 正典
18	平成22年2月19日	90分	35	看護部院内研修「リスク管理」	「リスク管理」	秋好セーフティマネージャー 構成員感染対策担当看護師長

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
19	平成22年2月22日	(0.5日) × 2	76	看護部院内研修「リスク管理2」	「リスク管理2」	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
20	平成22年2月25日	0.5日	56	看護部院内研修「リスク管理3」	「リスク管理3」	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
21	平成22年2月17日	60分	31	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
22	平成22年2月18日	60分	31	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
23	平成22年2月19日	60分	23	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
24	平成22年2月22日	60分	32	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
25	平成22年2月23日	60分	29	医療安全管理研修会(医療機器安全管理専門委員会共催)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作について	医療機器メーカー
	小計		1,039			

<対象者:その他>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年11月20日	20分	45	委託業者職員研修	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
	小計		45			
	総計(のべ)		8,756			



院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策は院内全体で取り組み、院内の異なる領域の専門家で組織化された感染制御部を常置し、院内感染防止対策を実践すること。</p> <p>(2) 病院長を委員長とする各部署の代表を構成委員とした院内感染予防対策委員会を設置し、毎月及び重大な問題が発生した場合に適宜開催すること。</p> <p>(3) 院内感染対策に関する研修会は全職員を対象として開催し、感染対策に対する意識向上を図ること。</p> <p>(4) 感染制御部は、届出が必要な感染症患者又は注意すべき感染症が発生した場合、発生部署に対し感染防止について指導すること。また、感染症法に則り保健所に届出の必要がある場合は、これを指導すること。</p> <p>(5) 感染制御部長は、感染経路の特定と原因の究明、拡大防止の具体的対応策を検討すること。また、病院長は、感染制御に必要な対応策を決定すること。</p> <p>(6) 職員は、患者との情報の共有に努めるとともに、患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合は、これに応じること。</p> <p>(7) 院内感染対策推進のため、「院内感染防止対策指針」を定期的に見直し、周知徹底を行うこと。</p>	
②院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染防止対策のための措置に関すること。</p> <p>(2) 院内感染防止対策に係る職員の教育及び研修に関すること。</p> <p>(3) 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。</p> <p>(4) 感染制御部の業務に関すること。</p> <p>(5) その他院内感染防止対策に関すること。</p>	
③従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年40回
<p>・研修の主な内容</p> <p>別紙のとおり</p>	
④感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備（有・無）</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① 耐性菌の検出時の連絡、複数回検出された部署への介入</p> <p>② 感染微生物報告書、抗菌薬使用届提出状況の把握・指導徹底</p> <p>③ リンクナースラウンドによる感染対策実施状況の指導・監視</p> <p>④ 手指衛生実施状況・個人防護具（PPE）適正使用の指導・監視</p> <p>⑤ ICTラウンド評価項目の変更による感染防止対策の強化</p> <p>⑥ 出前研修の実施</p>	

# 平成21年度 院内感染対策研修会

## ○ 全体に向けた内容の研修会

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年5月18日	60分	462	医療安全管理・感染防止対策合同研修会	①院内で発生している事例について ②院内感染防止上必要な届出について	①セーフティマネージャー 秋好美代子 ②感染制御部 内田勇二郎
平成21年5月19日	60分	495			
平成21年5月21日	60分	435			
平成21年7月23日	60分	377	医療安全管理・院内感染対策合同ビデオ研修会	①医療現場における感染対策の実践(1) ②患者確認は安全管理の第一歩 ③転倒転落予防	ビデオ研修
平成21年7月24日	60分	341			
平成21年10月22日	60分	435	院内感染対策セミナー	①当院における新型インフルエンザの対応について ②福岡市における新型インフルエンザ発生事例とその対応について	①感染制御部 村田昌之 ②福岡市保健福祉局 大島晶子
平成21年11月24日	60分	110	院内感染対策セミナー	①当院における新型インフルエンザの対応について ②福岡市における新型インフルエンザ発生事例とその対応について	ビデオ研修
平成21年11月25日	60分	90			
平成21年12月28日	61分	61	院内感染対策セミナー (麻酔科蘇生科・手術部)	「伝播防止のための感染対策」	出前研修
平成22年1月4日	62分	64	院内感染対策セミナー (麻酔科蘇生科・手術部)	「処置別感染防止策と職員感染予防」	出前研修
平成22年1月25日	60分	306	第10回「褥瘡をなおそう」	「ルート固定により発生した褥瘡」 「体圧分散器具選択基準」 ～新しく購入されるマットレスを中心に～	WOC看護師 和田美香 WOC看護師 立花 由紀子
平成22年2月8日	60分	80	医療安全管理・院内感染対策合同ビデオ研修会	①「感染経路別予防策」 ②「予約を安全に実施するため」に	ビデオ研修
平成22年2月9日	60分	366			
平成22年2月12日	60分	200			
平成22年2月24日	60分	312	院内感染対策セミナー	「研修医が知っておいてほしい抗菌薬の使い方」	感染制御部 下野信行 感染制御部 村田昌之
平成22年3月2日	60分	523	院内感染対策・医療安全管理合同研修会	「カテーテル関連血流感染予防はカテーテル管理だけで十分？」	国際医療福祉大学大学院 小田原保健医療学部 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 教授 操 華子
平成22年3月4日	60分	47	出前研修(義歯補綴科、咬合補綴科、歯内治療科)	①「みんな考えてよう医療事故防止対策！ルールを守って安全確保」 ②「処置別感染防止策と職業感染予防策」	ビデオ研修
平成22年3月11日	60分	40			

平成22年3月13日	60分	27	院内感染対策・医療安全管理合同研修会 (3/2研修会録画ビデオ使用)	「カテーテル関連血流感染予防はカテーテル管理だけで十分？」	国際医療福祉大学大学院 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 教授 操 華子
平成22年3月15日	60分	76	院内感染対策・医療安全管理合同研修会 (3/2研修会録画ビデオ使用)	「カテーテル関連血流感染予防はカテーテル管理だけで十分？」	国際医療福祉大学大学院 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 教授 操 華子
平成22年3月16日	60分	26			
平成22年3月18日	60分	137			
平成22年3月16日	60分	37	医療安全・院内感染対策合同研修会(小児科)	①九大病院の医療安全の現状 ②感染経路別予防策	①秋好セーフティマネージャー ②ビデオ教材
小計		5,047			

① ○ 採用者への研修会

<対象者:採用者合同(医師・看護師・薬剤師・コメディカル・事務等)>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年4月1日	30分	534	新採用者合同オリエンテーション	感染防止について	林感染制御部部長、 権藤感染対策担当看護師長
平成21年11月2日	25分	72	平成21年度九州大学病院職員新採用者研修	院内感染について	感染対策担当副看護師長
小計		606			

<対象者:医師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年4月3日	120分×2	91	新規採用者合同(医科研修医)オリエンテーション	手洗い講習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
平成21年4月3日	60分	45	新規採用研修医オリエンテーション	院内感染予防について	権藤感染対策担当看護師長
平成21年4月6日	110分×2	73	新規採用研修合同(歯科研修医)オリエンテーション	手洗い講習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
小計		209			

<対象者:看護師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年4月7、8日	120分×6	78	新採用者看護部オリエンテーション	手指衛生・PPE装着/接遇	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
平成21年8月3日、10月1日	30分×2	8	中途採用者オリエンテーション	病院感染対策について	感染対策担当副看護師長
平成22年1月4日	290分	6	中途採用者オリエンテーション	病院感染対策について	感染対策担当副看護師長
小計		92			

<対象者:コメディカル>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年4月2日	90分×1	50	新規採用者合同(薬剤部・医療技術部)オリエンテーション	手洗い講習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
小計		50			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年4月30日、5月1日	90分×6	78	院内研修会「1ヶ月フォローアップ研修会」	感染防止の技術	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
平成21年5月27日	7時間	37	院内研修会「感染制御」	感染経路別予防策	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護師
平成21年6月1日、6月3日	210分×3	116	院内研修会「リスク管理1」	院内感染防止対策の実施	セーブ担当看護師長 感染対策担当看護師長 感染対策担当副看護師長
平成21年10月9日、 11月6日、12月18日、 平成22年1月22日	60分×2	148	静脈注射認定看護師(IVナース)育成研修	静脈注射に関する無菌的操作と感染管理	感染対策担当副看護師長 感染管理認定看護師
平成22年2月19日	90分	38	院内研修会「リスク管理」	感染防止対策の基本	権藤感染対策看護師長
平成22年2月22日、25日	240分	76	院内研修会「リスク管理2」	看護ケアにおける感染防止対策	権藤感染対策看護師長
小計		493			

<対象者:感染対策担当者>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年6月17日	10分	68	ミニレクチャー	手と手袋	感染制御部 下野信行
平成21年7月15日	10分	67	ミニレクチャー	血液培養について	感染制御部 長崎洋司
平成21年9月16日	10分	64	ミニレクチャー	薬剤耐性大腸菌	感染制御部 内田勇二郎
平成21年12月16日	10分	63	ミニレクチャー	抗菌薬関連下痢症	感染制御部 内田勇二郎
小計		199			

<対象者:リンクナース>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年5月27日	10分	35	ミニレクチャー	ミニテスト	感染管理認定看護師
平成21年7月15日	10分	36	ミニレクチャー	MRSA対策	感染管理認定看護師
平成21年8月19日、11月18日	10分×2	76	ミニレクチャー	血管内カテーテル関連感染	感染管理認定看護師
平成22年1月20日	10分	36	ミニレクチャー	感染性胃腸炎	感染管理認定看護師
小計		183			

<対象者:その他>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成21年7月1日	1時間	26	第9回九州大学病院ボランティア研修	感染対策について	感染対策担当看護師長 感染対策担当副看護師長
平成21年11月20日	20分	45	平成21年度委託業者職員研修	院内感染防止について	感染対策担当看護師長
平成22年2月19日	70分	36	リスク管理(看護助手)	感染防止対策の基本	感染対策担当看護師長
小計		107			

総計(のべ)	6,986				
--------	-------	--	--	--	--

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 20 回
・ 研修の主な内容： 別紙のとおり	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( 有 ) ・ 無 ) ・ 業務の主な内容： 看護師、薬剤師による病棟および外来診所配置注射薬の管理状況チェック (月 1 回)、 配置注射薬の使用状況を各病棟に通知し、適正在庫量への調整を依頼 (月 1 回) 薬剤師による病棟及び外来診所配置薬剤全般の管理状況チェック (3ヶ月毎) 救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( 有 ) ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 手順書の見直し 情報の院内通知 (ホームページ、電子メール、オーダシステム上) 特に重要な情報については、処方医に文書を送付 副作用を収集し厚生労働省へ報告 疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化 類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダ名称表示方法を工夫	

# 平成21年度 医薬品安全管理研修会

## ○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年7月29日	60分	241	医療安全管理研修会 (心肺蘇生サポート委員会共催)	鎮静剤の安全な使用について	麻酔科蘇生科助教 山浦 健
2	平成21年12月16日	60分	152	医療安全管理研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	①麻薬、向精神薬、筋弛緩薬の管理について ②院内で発生した事故事例について ③事故発生時の手続きと処理について ④薬品の管理に関する質疑応答	①薬剤部部長 大石 了三 ②薬剤部麻薬係長 平川 良宏 ③薬剤部麻薬係 辻 敏和 ④薬剤部副部長 末安 正典
小 計			393			

## ○ 採用者への研修会

<対象者：看護師>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年5月1日	90分	78	フォローアップ研修	薬剤の基礎知識	医薬品安全管理副責任者 末安 正典
小 計			78			

## ○ 職種別研修会

<対象者：医師、看護師外>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年5月13日	40分	30	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部薬品試験係 柳瀬 悠子
2	平成21年5月14日	40分	17	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之
3	平成21年5月15日	40分	9	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部薬品試験係 柳瀬 悠子
4	平成21年5月19日	40分	12	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 大場 俊弘
5	平成21年5月21日	40分	7	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 角田 朋子
6	平成21年5月29日	30分	42	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部薬品試験係 柳瀬 悠子
7	平成21年7月14日	35分	10	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 中島 貴文
8	平成21年7月23日	60分	26	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之
9	平成21年10月9日	90分	68	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 末安 正典
10	平成21年10月14日	40分	21	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之
11	平成21年10月28日	40分	15	平成21年度 抗がん剤取扱い講習会	○抗がん剤曝露について ○調製手技確認	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之
12	平成21年11月6日	90分	81	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 末安 正典
13	平成21年12月3日	60分	24	緩和ケア担当看護師定例会	オピオイドの副作用について	薬剤部 内田 まよこ
14	平成21年12月18日	90分	86	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 末安 正典
15	平成22年1月22日	90分	93	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副部長 末安 正典
16	平成22年3月30日	60分	19	北棟7-1 看護師勉強会	オピオイドの副作用について	薬剤部 内田 まよこ
小 計			560			



<対象者:その他>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成21年4月2日	90分	15	薬剤部研修生集中教育	薬剤部におけるリスクマネジメント	医薬品安全管理副責任者 末安 正典
	小計		15			
	総計(のべ)		1,046			

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 19回
・ 研修の主な内容： 人工呼吸器の取り扱い、補助人工心臓の取り扱い、血液透析装置の取り扱い、除細動装置の取り扱い及びその他医療機器の取り扱い等の説明会、研修会を行っている。 1. 医療機器の新規導入時に当該医療機器を使用する予定者に対する安全使用等に関する研修 2. 特定機能病院において、特に安全使用に際しての習熟が必要な医療機器に対しての定期研修 3. 既納入医療機器のバージョンアップ時における安全使用等に関する研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 1. 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 2. 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書に則って実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 院内情報は、医療安全管理部に報告され管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 2. 院内情報は、医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 3. 収集した情報は、医療機器安全管理専門委員会において、各委員会に報告し関連部署への周知している。	